

1. 主語代名詞と動詞 **ser** の直説法現在

Eu sou japonês. / Eu sou japonesa.
 Nós somos japoneses.
 Ele é inglês. / Ela é inglesa.
 Eles são portugueses. / Elas são brasileiras.
 Os senhores são japoneses?
 — Sim, somos japoneses. / — Não, não somos japoneses.
 — Somos, sim. Somos japoneses. / — Não somos, não. Não somos japoneses.

① 主語代名詞

文法的人称	単数	複数	文法的機能
1人称	eu 「私は」	nós 「私たちは」	話し手
2人称	tu 「君は」	vós 「汝らは」	聞き手
3人称	você 「君は」 o senhor 「あなたは(男)」 a senhora 「あなたは(女)」	vocês 「君たちは」 os senhores 「あなたがたは(男複)」 as senhoras 「あなたがたは(女複)」	
	ele 「彼は, それは」 ela 「彼女は, それは」	eles 「彼らは, それらは」 elas 「彼女たちは, それらは」	第3者

vós はブラジルでもポルトガルでも通常の現代語では用いられない。

o senhor, a senhora, ele, ela の複数形では, 男性複数形(**os senhores, eles**)は男女の集団も表し(代表複数), 逆に女性複数形(**as senhoras, elas**)は女性だけの集団しか表さない。

◆ 親称と敬称

ポルトガル語では聞き手に対し, 初対面, 尊敬, 遠慮など一定の距離を置く「敬称」と, 親しい間柄や社会的に同等とされる者同士で用いられる「親称」を区別する。

ブラジル : **você(s)** ⇔ **o(s) senhor(es), a(s) senhoras**

ポルトガル:

	単数	複数
親称	tu	vocês
中間称	você	
敬称	o senhor a senhora	os senhores as senhoras

② 動詞 SER の直説法現在形 「...である」

動詞は主語に応じた6つの形を取る。主語代名詞と動詞 SER の対応する変化形は次の通りである。SER は、英語の BE 動詞にあたり、比較的変わらない性質、身分、国籍、職業などを表したり、断定や受動態の助動詞として用いられる。

	単数		複数	
1人称	eu	sou	nós	somos
2人称	tu	és	vós	sois
3人称	você o senhor a senhora ele ela 名詞(単数)	é	vocês os senhores as senhoras eles elas 名詞(複数)	são

主語代名詞は省略できる。すでに変化形に主語の人称に関する情報が含まれているからである。語形や文脈から意味が明らかな場合は、**対比、強調などの場合を除いて、主語代名詞は省略されるのが普通**である。

Sou brasileiro. 私はブラジル人です Somos brasileiros. 私たちは...
Eles não são portugueses. A senhora é inglesa? あなたはイギリス人ですか?
彼らはポルトガル人ではありません

◆ 疑問文と否定文

疑問詞を用いない疑問文は文末のイントネーションを上がり調子にする。文の最後の単語のアクセントのある音節から音質を高くする。語順を変える必要はない。書き言葉では文末に”?”をつける。

Os senhores são japoneses? (↗) あなたがたは日本人ですか？

答には sim 「はい」、não 「いいえ」を用い、二つのパターンがある。否定文は動詞の前に **não** をおく。

- 1) — Sim, somos japoneses. はい、私たちは日本人です
— Não, não somos japoneses. いいえ、私たちは日本人ではありません
- 2) — Somos, sim. Somos japoneses.
— Não somos, não. Não somos japoneses.

疑問詞を用いた疑問文のイントネーションは平常文と同じく下がり調子にするが、上がり調子のイントネーションで発音してもまちがいはないが、質問に対する質問になることがある。(「... ?」ですって?)

Onde estão os seus amigos? お友達はどこにいますか? Quando vai para a loja? いつその店に行きますか?
疑問詞を伴った疑問文では、疑問詞のあとに **é que** が挿入されることがある。

Quando é que tu chegaste à escola? 君は学校にいつ着きましたか?

é que は、文頭の要素を強調する語句で、この場合は疑問文のマーカーである。なくても意味は変わらないが、イントネーションは必ず下がり調子になる。

ブラジルの標準的な話し言葉では動詞の2人称単数形は用いられない。規範文法的には「ブラジルでは tu は用

いられない」と説明されるが、実際に使用されないのは動詞の変化形で、人称代名詞の **tu** は、特にブラジル南部の地域では、親しい関係にあるものに対する親称の代名詞として広く用いられている。しかし、動詞の形は3人称になる。

João, tu está aqui? ジョアン、ここにいるの? (=João, você está aqui?)

ただし、このような形は、通常は文法的には誤った文とみなされるので、積極的には用いないほうがよい。

挨拶の表現

①出会ったときや別れの挨拶

Bom dia. おはようございます, こんにちは(午前中) / **Boa tarde.** こんにちは(午後)

Boa noite. こんにちは, おやすみなさい(夜)

Oi! やあ (ブ) **Olá!** やあ **Adeus.** (ポ) さようなら **Até logo.** さようなら **Tchau** さようなら

Até amanhã また明日. **Até a próxima.** また今度

②相手の様子を聞く表現(①に続けるのが礼儀)

— **Como está (o senhor/a senhora)?** ご機嫌いかがですか?

— **Estou muito bem, obrigado/obrigada. E o senhor / a senhora?**

とても元気です, ありがとう. あなたは?

— **Estou muito bem, obrigado/obrigada.** とても元気です, ありがとう.

(同様の表現:)

Como vai (você)? / Muito bem, obrigado/obrigada. E você? / Muito bem, obrigado/obrigada. (ブ)

Tudo bem? / Tudo bem, obrigado/obrigada. E você? / Tudo bem, obrigado/obrigada. (ブ)

③自己紹介の表現

Meu nome é (ブ) / **Chamo-me** (ポ) 私の名前は.....です.

Muito prazer. はじめまして, こちらこそ **O prazer é todo meu.** (ブ) こちらこそ

④その他

Obrigado. / Obrigada. ありがとう(男性が/女性が) **De nada.** どういたしまして **Desculpe.** ごめんなさい

Com licença. 失礼します **Bem vindo a... / Bem vinda a...** ...へようこそ(男性へ/女性へ)

練習問題 I

括弧のなかに動詞 **ser** の適当な形を入れなさい.

- | | |
|--|---------------------------------------|
| ① Eu () japonês. | ② Nós () japoneses. |
| ③ Você () estudante? | ④ Eles () turistas. |
| ⑤ Tu () meu amigo. | ⑥ Ela () muito alegre e inteligente. |
| ⑦ Mário () solteiro, mas Isabel () casada. | |
| ⑧ João não () casado? | ⑨ Não, ele () divorciado. |
| ⑩ Os senhores () professores? | |

単語: estudante 学生 turistas 旅行者(複数) meu amigo 私の友達 muito とても alegre 陽気な e そして inteligente 頭がよい solteiro 独身の(男性形) mas しかし casada 既婚の(女性形) divorciado 離婚の professores 先生(複数形)

2. 名詞の性と数

① 男性名詞と女性名詞

ポルトガル語の名詞は男性名詞と女性名詞に分かれる。文法上の性と単語の意味には必ずしも有縁的な関係があるわけではない。人や動物など自然の「性」を有するものでは、文法性と意味上の自然性が一致することがあるが、物や抽象的な概念を表すものではこのような関係は考えにくい。

男性名詞

homem 男 marido 夫 pai 父 filho 息子
menino 男の子 guri(ブ)男の子

ano 年 tempo 時間, 天気 trabalho 仕事, 作業
exemplo 例 beijo キス cansaço 疲労
capital 資本 prazer 喜び dia 日 problema 問題

女性名詞

mulher 女, 妻 esposa 妻 mãe 母 filha 娘
menina 女の子 guria(ブ)女の子, 恋人

coisa 事, 物 pessoa 人 casa 家 maneira 流儀, 方法
vida 生活, 人生 hora 時 beleza 美 saída 出口
parte 部分 gente 人々 capital 首都

◆名詞の性と語尾

文法性と語尾に厳密な対応があるわけではないが、一般的に **-o** で終わる名詞の大部分は男性名詞で、**-a** で終わるものの多くは女性名詞である。(m.=masculino 男性, f.=feminino 女性)

例外: tribo f.部族, foto f.写真(<fotografia>), moto f.バイク(motocicleta), mão f.手, dia m 日, 昼, problema m.問題, sistema m.システム, mapa m.地図

② 名詞の数変化

「性」とちがいが名詞の文法的カテゴリーとしての「数」は、指示対象が一つか、二つ以上であるかという意味上の区別に対応する。単数形が基本形で、複数形は対象が二つ以上であることが明らかの場合に用いられる。単語によっては集合名詞的に単数形が用いられたり(例: gente 人々, 私たち), 複数形しか用いられないような単語も存在する(例: núpcias 婚姻, suspensórios ズボン吊り)。

◆ 単数形から複数形の作り方(以下の規則は形容詞についても共通である)

i) 母音で終わる単語では **-s** を加える。: ano → anos dia → dias gente → gentes

ii) 語末が **-r, -z** のものでは **-es** を加える。

professor → professores lugar 場所 → lugares paz 平和 → pazes

iii) **-m** で終わる単語では **-m** を **-ns** に変える。:

homem → homens jovem → jovens viagem f. 旅行 → viagens

iv) **-ão** で終わる単語は **-ão** → **-ões** **-ão** → **-ãos** **-ão** → **-ães** のいずれかの変化をする。

・ canção f. 歌 → canções limão m. レモン → limões leão m. ライオン → leões

condição f. 条件 → condições adoração 憧れ → adorações visão → visões

- chão m. 床, 地面 → chãos mão f. 手 → mãos irmão m. 兄弟 → irmãos
órgão m. 臓器 → órgãos
- alemão m. ドイツ人 → alemães cão m. 犬 → cães pão m. パン → pães
capitão m. 隊長, 大尉 → capitães

(-ão→-ões が最も多いので, -ão→-ãos, -ão→-ães の変化をする単語を覚えておくといよい.)

v) -il で終わる語

アクセントのない -il → -eis: fóssil m. 化石 → fósseis réptil m. 爬虫類 → répteis
(difícil 難しい → difíceis fácil 易しい → fáceis)

アクセントのある -il → -is: barril m. 樽 → barris funil m. 漏斗 → funis
(civil 市民の → civis gentil 親切的な → gentis)

(ブラジルでは reptil → reptis が普通で, ポルトガルでは réptil しか用いられない.)

⚠ il のアクセントの有無の見分け方: l で終わる語では, 通常その前の母音にアクセントがある時, アクセント記号は使われません. 従って, 単語の他の位置にアクセント記号がなければ, l の前にアクセントがあります.

vi) -al, -el, -ol, -ul で終わる語では l を -is にする. ただし, -el, -ol の -e- と -o- にアクセントがある時は -éis, -óis になる. :

jornal m. 新聞 → jornais capital 首都 f. 資本 m. → capitais
nível m. レベル → níveis papel m. 紙 → papéis
álcool m. アルコール → alcoóis lençol m. シーツ → lençóis
azul 青い → azuis paul m. 湿地帯 → pauis

Ⓢ l で閉じられる音節の母音は開きが大きくなる傾向があります.

vii) -s で終わる語では, s の前の母音にアクセントがある時は -es を加え, アクセントがない場合は単複同形となる. 前者の場合, 必要に応じてアクセント記号を取る. :

país m. 国 → países japonês m. 日本人 → japoneses
ananas m. パイン → ananases lápis m. 鉛筆 → lápis alferes m. 少尉 → alferes
atlas m. 地図 → atlas

⚠ s の前の母音にアクセントがある時は, 必ずアクセント記号が使われます. また, ブラジルでは1975年まで japoneses, portuguesa のような綴り字が用いられていた.

◆ 文法性と自然性, 二性名詞

名詞には, 意味上の性に従い形を変えるものがある一方, 形は同じでも意味に応じて男性名詞, 女性名詞と性を変える「二性名詞」とでも呼べるものがある. 辞書では, 名詞の性は必ず示されている. (m.=masculino 男性, f.=feminino 女性, 2g.= dois *gêneros 二性, s.=substantivo 名詞)

*ブラジルのポルトガル語では gênero.

i) 文法性と自然性は一致

homem 男 mulher 女, 妻 menino 男の子 menina 女の子 filho filha 娘 pai mãe 母
professor 教師 professora 女教師 mestre 教師 mestra 女教師 cozinheiro 料理人

cozinheira boi 雄牛 vaca 雌牛 bode 雄ヤギ cabra 雌ヤギ

ii) 性に応じた形も存在するが、一方の形で代表させるのが普通

cão 犬 (*cachorro 子犬) (cadela 雌犬) gato 猫 (gata 雌猫)

iii) 文法性が固定しているもの

vítima 被害者 pessoa criança 子供 barata ゴキブリ

iv) 自然性に応じて文法性が変わる(→名詞を修飾する冠詞、指示詞などに反映)

artista 芸術家 motorista 運転手 jovem 若者 colega 同僚 gerente 管理人 estudante 学生

*ブラジルのポルトガル語では cachorro が「犬」を表す普通の形である。

◆ 綴り字に現れない語形変化(メタフォニー):

語尾が -o で終わり、単数形の強勢母音が o [o] である男性名詞の一部では、複数形で語幹の強勢母音が o [ɔ] に交替する。

corpo ['korpu] (ブ['koxpu]) → corpos ['kɔrpu] (ブ['kɔxpus])

この変化は綴り字に現れないため通常、初級文法では扱われない。辞書によっては、単語の発音表記の中で示されていることがある。

★このような変化をする語: corpo 体, corvo からす, fogo 火, jogo ゲーム, osso 骨, ovo 卵, porco 豚, porto 港, povo 民衆, sogro 舅, olho 目, poço 井戸, bolso ポケット

★同じような条件にありながら、複数形で母音の交替の起きないもの: gosto 好み, lobo 狼, lodo 泥, rosto 顔, esposo 夫

この現象はラテン語からポルトガル語への歴史的変化と関係しています。実用的には知らなくても特に支障はありません。単数形の母音が広い o [ɔ] や e の場合はこのような変化は起きません。

練習問題 II

次の名詞を複数形にしてください。

ano dia gente professor lugar paz homem jovem viagem canção limão leão
condição adoração visão chão mão irmão órgão alemão cão pão capitão
fóssil réptil difícil fácil barril funil civil gentil jornal capital nível papel
álcool lençol azul paul país japonês ananás lápis alferes atlas

生のポルトガル語を聞いてみよう!

インターネットを通じてポルトガルやブラジルの放送を聞くことが出来ます。ポルトガルは www.rtp.pt のトップページから国営ラジオ・テレビ局である RTP (=Radio Televisão Portuguesa) に入れます。ラジオは RTP1, RTP2, RTP3 をはじめとする9つほどのチャンネルがあります。RTP1 が代表的で、ニュースや音楽、教養番組などで構成されています。

ブラジルのラジオでは、ニュースや教養番組的な内容では CBN (<http://radioclick.globo.com/globobrasil/>) がよく知られています。

3. 冠詞

Televisão não é Cinema.	O jazz é uma música estranha.
O trabalho de Mário é duro mas divertido.	
A sala de aula é no fundo do corredor.	
O senhor é aluno de português?	Onde é a casa do professor?
Interpretar é uma capacidade dos homens.	
vários casos de corrupção	(uma / a) identidade da pessoa
(um / o) tempo de praia	(um / o) futuro da região
(os) níveis de precipitação	(uma / a) falta de água nas torneiras

ポルトガル語には**定冠詞**と**不定冠詞**がある。名詞の前に置かれ、その性数に一致する。

① 定冠詞

すでに述べられた既知のものや、特定されているもの(「その、例の、...は」)を示す。「...というものの(すべて)は」という**総称的用法**もある。

	単数形	複数形
男性形	o	os
女性形	a	as

o carro その車 a cadeira その椅子
os copos それらのコップ as moedas それらの小銭

ポルトガル語では**人名**にも**定冠詞**がつくことがある。(o João, a Maria...)「(私たちが知っている)例の」といった程度の意味で、定冠詞がなくてもまちがいはない。ただし、呼びかけの場合には定冠詞をつけることは出来ない。

O Manuel trabalha no escritório da fábrica. マヌエルはその工場の事務所で働いている

O José não está hoje em casa. ジョゼは今日家にいない

José, estás em casa amanhã? ジョゼ、明日家にいるかい?

② 不定冠詞

単数形は「あるひとつの、...が」といった意味で、**はじめて話題に出てくるもの**を示す。複数形は「いくつかの、約...」という意味で用いられる数量詞と考えられる。厳密には、不定冠詞の複数形の意味にあたるものは冠詞なしの複数形である。

	単数形	複数形
男性形	um	uns
女性形	uma	umas

um filho ある一人の息子
uma filha ある一人の娘

uns filhos 何人かの息子たち umas filhas 何人かの娘たち

✎ 定冠詞がつく名詞は聞き手が知っているもの、不定冠詞つきの名詞は相手にとってはじめて話題にあがるものと考えておくとう便利です。

③ 前置詞と定冠詞, 不定冠詞の結合形

前置詞の a, de, em, por は定冠詞と, またそのうち de, em は不定冠詞と結合形(縮合形)を作る。これらの前置詞の基本的意味は a 「...へ, ...で」(間接目的語, 時間, 場所), de 「...の, ...から」(所有, 時間や場所の起点), em 「...で」(場所), por 「...によって, ...のあたりを」(行為者, 原因, 場所の広がり)などであるが, 動詞や形容詞などによって特定の前置詞が使われる場合もあるので注意が必要である。

前置詞と定冠詞が連続している時に結合形が用いられる。

	o	os	a	as
a	ao	aos	à	às
de	do	dos	da	das
em	no	nos	na	nas
por	pelo	pelos	pela	pelas

de + a praia その砂浜

⇒ da praia その砂浜から

em + o prédio その建物

⇒ no prédio その建物で

☞ 結合形が使われるのは, 規範文法的には, 前置詞が支配する語句がその冠詞がつく名詞句だけのときで, 名詞句+不定詞といった構文全体を支配する場合には結合形にしないのがより正しいとされる。

	um	uns	uma	umas
em	num	nuns	numa	numas
de	dum	duns	duma	dumas

文法的には, 前置詞と不定冠詞の結合形は用いても用いなくてもよい。文体によって使い分けられている。特に,

dum, duns... などの形の使用は現代語ではやや堅苦しい文体に限られる。

◆ 冠詞, 形容詞, 指示詞, 所有詞など名詞を修飾する単語では, それぞれ名詞の性数に一致した形が用いられる。性数の文法的カテゴリーは文中で語群のまとまりを形式的に示す手段でもあり, ポルトガル語が英語などに比べて語順が比較的自由であるのはこのことと関係している。

④ 地名と定冠詞

地名には定冠詞がつくものとつかないものがある。原則として, 国, 地方, 大陸, 山, 川, 大洋, 群島などには定冠詞をつける。性は単語の形やもとの言語での文法性などによって決まる。

o Brasil ブラジル o Japão 日本 a Alemanha ドイツ a Rússia ロシア a China 中国
a Coreia (B. Coréia) 朝鮮 a Sibéria シベリア o Nordeste 東北地方 a África アフリカ
os Alpes アルプス山脈 o Amazonas アマゾン川 o Lemano レマン湖 o Atlântico 大西洋
o Pacífico 太平洋 os Açores アゾレス諸島

国名や地方名には定冠詞が付かない例外もある。

Portugal ポルトガル Angola アンゴラ Moçambique モザンビーク Cabo Verde カーボベルデ
São Tomé e Príncipe サントメ・イ・プリンシペ Macau マカオ Timor チモール
Andorra アンドラ Israel イスラエル São Salvador サン・サルバドール Aragão アラゴン
Castela カスティーリャ Leão レオン

ヨーロッパの国名には Espanha スペイン, França フランス, Inglaterra イギリス, Itália イタリア

などのように前置詞がつくと無冠詞になるものがある。

em Itália イタリアで

都市，地名，島などを表す単語にはふつう定冠詞はつかない。

Lisboa リスボン Paris パリ Londres ロンドン Colónia (B.Colônia) ケルン

Arruda アルーダ（ポルトガルの田舎町） Cuba キューバ Malta マルタ島

冠詞のつく例外：a Guarda グアルダ（ポルトガル北部の都市），o Porto ポルト，

o Rio de Janeiro リオ・デ・ジャネイロ，a Figueira da Foz フィゲイラ・ダ・フォス（ポ

ルトガル中部の都市），o Cairo カイロ，a Haia ハーグ，o Havre ル・アーヴル，a Córsega

コルシカ島，a Madeira マデイラ島，a Sardenha サルデニア島，a Sicília シシリー島

練習問題Ⅲ

(1) 次の名詞に定冠詞を付けて，意味を言いなさい。

① coisa ② filmes ③ anos ④ casas ⑤ gente ⑥ dia ⑦ maneira ⑧ exemplo

(2) 次の名詞に不定冠詞を付けて，意味を言いなさい。

① grupo ② cinema ③ feira ④ caso ⑤ ministro ⑥ problema ⑦ parte ⑧ vida

(3) 前置詞と冠詞の結合形に注意しながら文章を読む練習をなさい。

- ① A sala de aula é no fundo do corredor.
- ② Confio na minha família.
- ③ O senhor é aluno de português?
- ④ O jogador não tem culpa do sucedido.
- ⑤ Lembro-me dos soldados, mas era pequenina.
- ⑥ Onde é a casa do professor?
- ⑦ João é simpático.
- ⑧ Aquelas moças são muito espertas.
- ⑨ Sou estudante desta universidade.
- ⑩ Ele é brasileiro.
- ⑪ É importante.
- ⑫ Esta carta é escrita por ela.

(Confio em... 私は...を信頼します，minha 私の，tem culpa de... ~は...についての過失がある，o sucedido 起ったこと，Lembro-me de... 私は...を覚えている，mas しかし，era 私は...だった，pequenina ちっちゃい)

4. 形容詞と動詞 ESTAR の直説法現在

um rapaz grande uma menina inteligente os carros grandes a casa linda
 um bom apartamento boas relações de vizinhança um bom emprego
 O senhor está em casa. Ela está na casa da Ana Maria. Vocês estão aqui?
 As tuas impressões digitais estão na arma do crime. Eu sou inocente.
 O Bairro da Liberdade é muito mau. «Chico... Eu estou grávida.»
 Tu estás totalmente paranóico.
 Tá aí o seu nome na primeira página. A Guida ainda tá muito abalada

① 形容詞

形容詞は名詞を修飾し、修飾する名詞の性数に従って変化する。名詞を直接修飾するときは後置されるのが普通である。前置された形容詞には主観的な、価値判断を含むような意味合いが強くなることもある。

単 数 形		複 数 形	
男性形	女性形	男性形	女性形
novo	nova	novos	novas
grande		grandes	
simples			

uma casa grande ある大きな家
 um grande homem ある偉大な男
 uma família pobre ある貧しい一家
 um pobre rapaz ある哀れな青年

形容詞の数変化は名詞と同じである。男性形から女性形の作り方については、「◆形容詞の女性形」を参照のこと。

ser, estar などの動詞の属詞として用いられる形容詞は文の主語と性数一致する。

O João é simpático. ジョアンはいい奴だ
 O tempo está húmido hoje. 今日は湿った天気だ(cf.B. úmido)
 Gurias são muito espertas. 女どもはとてまかしこい (guria はブラジルの俗語表現)

bom 「よい」、mau 「悪い」の性数変化は不規則である。これらは名詞を直接修飾する時、前置されるのが普通である。

男性単数	男性複数	女性単数	女性複数
bom	bons	boa	boas
mau	maus	má	más

Bom dia! こんにちは boa ideia よい考え boas ondas よい波
 Uma coisa boa de ficar olhando... 見ているのによい事 bons amigos よき友人たち

bem 「よく」、mal 「悪く」は bom, mau に対応する副詞である。副詞は文全体を修飾したり、他の形容詞や副詞を修飾するのに用いられる。

A Austrália é bem longe. オーストラリアはかなり遠い
 canteiros mal tratados 手入れの悪い花壇

② 動詞 ESTAR の直説法現在形「～という状態である, ～にいる(ある)」

	単数		複数	
1人称	eu	estou	nós	estamos
2人称	tu	estás	vós	estais
3人称	você o senhor a senhora ele ela 名詞等 (単数扱い)	está	vocês os senhores as senhoras eles elas 名詞等 (複数扱い)	estão

ポルトガル語では, BE 動詞にあたるものに *ser* と *estar* があります. *estar* は状態や場所の表現に用いられる動詞です.

Ele está doente. 彼は具合が悪い O carro está limpo. その車はきれい(な状態)です
 Estou hoje muito cansado. 私は今日はとても疲れています Estamos em casa. 私たちは家にいます
 Os carros estão na garagem. それらの車は車庫の中です
 Ela está em Lisboa? — Não, está em Londres. 彼女はリスボンにいますか? — いいえ, ロンドンにいます
 Estás pelo Porto ou pelo Benfica? 君はポルトを応援しているのですか, それともベンフィカですか
 Ele está de mal com o vizinho por uma ninharia. 彼はどうでもいいようなことで隣人と仲が悪い状態である

◆ SER と ESTAR

この2つには使い分けがあり, 一般に, *estar* は一時的な状態や場所を表し, *ser* は比較的変わらない性質を表現する.

Hoje ele está cansado. 今日, 彼は疲れている Ela está em casa agora. 今, 彼女は家にいる
 O cinema está ao lado do teatro. その映画館は劇場のとなりにある (O cinema é ao lado do teatro.*)
 Esta cerveja é boa. このビールはおいしい
 O Gilberto é um homem alegre. ジルベルトは陽気な(性質の)男だ



Esta cerveja está boa. このビールは飲み頃だ

O Gilberto está alegre. ジルベルトは楽しそうだ

*ポルトガルのポルトガル語では, 建物などに関しては *ser* を使うことが多い.

◆ 形容詞の女性形の作り方: 数変化の規則は名詞と同じ. 男性形と女性形の対応には例外が多い.

i) 無強勢の -o で終わるものは -o を -a に代える.

bonito きれいな → bonita muito 沢山の → muita claro 明らかな → clara pequeno 小さい → pequena

ii) -u, -ês, -or で終わるものでは, そのまま a を付け加えるのが一般的である.

cru 「生の」 → crua nu 裸の → nua francês フランスの → francesa
 japonês 日本の → japonesa morador 住人の → moradora falador おしゃべりの → faladora

★hindu, zulu, cortês, montês, pedrês, melhor, pior, maior, menor, superior, inferior, multidor, incolor, sensabor など
 は不変化とされる. ただし, ゆれのある場合も少なくない.

iii) -ão で終わるものは -ã 又は -ona に代える.

são 健康な → sã alemão ドイツの → alemã chorão 泣き虫の → chorona ★beirão → beiroa ベイラ地方の

iv) -eu [ew] で終わるものは -eia [ejɐ] にする.

européu ヨーロッパの → europeia plebeu 平民の → plebeia hebreu ヘブライの → hebreia

★ judeu ユダヤの→ judia sandeu 愚かな→ sandia

v) -êu [ew] で終わるものは -oa にする: ilhéu 島民の→ ilhoa

◆ 綴り字に現れない語形変化(メタフォニー): 形容詞

novo 「新しい」, grosso 「分厚い」, morto 「死んだ」, torto 「曲がった」, posto 「置かれた」のように男性単数形の強勢母音が o [o] である形容詞の一部と formoso 「美しい」のような男性単数形が -oso ['ozu] で終わる形容詞は次のような語幹の母音の交替を示す.

novo [o] nova [ɔ] novos [ɔ] novas [ɔ]

★ 同じような条件にありながら, 交替の起きないもの: fosco つやのない, fofo ふわふわの, oco 空っぽの, tosco 未加工の, roto ぼろぼろの, todo すべての, roxo 紫色の

◆ 「二性形容詞」

i) -a で終わるもの. 多くは名詞としても用いられる: hipócrita 偽善の homicida 殺人の

indígena 原住民の asceta 禁欲の celta ケルトの israelita イスラエルの agrícola 農業の

ii) -e で終わるもの: árabe アラブの breve 短い doce 甘い humilde つましい terrestre 地上の

torpe 曲がった triste 悲しい pedinte 乞食の

iii) -l で終わるもの: cordial 誠実な infiel 不実な amável 愛想のよい ágil 素早い azul 青い

iv) -ar で終わるもの, 及び -or で終わる比較級.

exemplar 模範的な ímpar 奇数の maior より大きい superior 上位の

v) 語末にアクセントのない -s で終わる語: reles 卑しい simples 単純な

vi) -z で終わるもの: audaz 大胆な feliz 幸福な atroz 残酷な

vii) -m で終わるもの: virgem 初めての ruim 腐った comum 普通の

★例外: andaluz アンダルシアの→ andaluza bom→ boa espanhol スペインの→ espanhola

練習問題IV

(1) かつこ内の形容詞を適当な形に変化させなさい.

- | | | |
|-------------------------|-------------------------|--------------------------|
| ① os factos (histórico) | ② uma zona (perigoso) | ③ mulheres (grande) |
| ④ as edições (especial) | ⑤ uns quadros (bonito) | ⑥ uma sociedade (plebeu) |
| ⑦ rapazes (nu) | ⑧ uma máquina (francês) | ⑨ colegas (simpático) |

(2) 次の文の下線部に ser または estar の適当な形を入れて訳しなさい.

- | | |
|-----------------------------------|--|
| ① O Manuel _____ simpático. | ⑪ Vocês _____ muito faladores. |
| ② O urso _____ da tua irmã? | ⑫ Onde _____ a caneta? |
| ③ O tempo _____ húmido hoje. | ⑬ Que dia _____ hoje? |
| ④ Os alunos _____ sentados. | ⑭ Eu não _____ na Inglaterra. |
| ⑤ Ele _____ o bom jogador. | ⑮ O senhor _____ o Sr. Santos? |
| ⑥ Eu _____ na aula de português | ⑯ Você _____ a Mila, não é? |
| ⑦ Nós _____ professores. | ⑰ O perigo _____ na velocidade. |
| ⑧ O caderno _____ junto ao livro. | ⑱ Os livros das alunas _____ sobre a mesa. |
| ⑨ Tu _____ o amigo do Diogo? | ⑲ A porta da sala _____ fechada. |
| ⑩ Ela _____ famosa. | ⑳ Nós _____ no Brasil. |

5. 規則動詞の直説法現在と指示詞

Eu acho legal. Às vezes eu viajo fora do Japão. Tu falas inglês? Acho que sim.
 Oi. Tudo bem? Por acaso, tu não conheces uma menina chamada Rosa Maria?
 Ela está numa casa por aqui. Você sabe onde ela mora? A gente come uma pizza aqui.
 Você concorda com isso? Caio termina namoro com Joyce. Os convidados já estão lá?
 Aquele rapaz insiste no casamento com Carolina. Compro esta casa. Gosto deste.
 Tadeu e Luciana estão preocupados com a falta de dinheiro.

① 規則動詞

ポルトガル語の動詞は、不定詞の語尾が **-ar, -er, -ir** で終わるもの、および pôr 「置く」とその派生語 (supor 「仮定する」, impor 「課する」...) がある。 **-ar, -er, -ir** のそれぞれについて規則変化の **パターン** がある。不規則動詞は、そのパターンから逸脱しているもので、必ずしもその活用形のすべてが不規則なわけではない。

(1) falar 「話す」, (2) vender 「売る」, (3) abrir 「開ける」の直説法現在形を以下に示す。

不定詞	FALAR	VENDER	ABRIR
1人称単数	falo	vendo	abro
2人称単数	falas	vendes	abres
3人称単数	fala	vende	abre
1人称複数	falamos	vendemos	abrimos
2人称複数	falais	vendeis	abris
3人称複数	falam	vendem	abrem

Ele fala português muito bem. 彼はとても上手にポルトガル語を話します
 Eles vendem o apartamento deles. 彼らは自分たちのマンションを売る
 Tu abres a janela? 君が窓を開けますか

時制とは、発話の時点と、その文が表す内容(＝事象)との時間的関係のことである。直説法現在形は動詞の時制の最も基本的な形式で、(発話の時点と同じ) **現在の事象や習慣的な出来事、普遍的な真理**と考えられるものなどを表す。 **近い未来の、確定的な出来事**も表すことがある。ここで直説法という用語が用いられているが、文法用語としての「法」は、叙法ともいわれ、表現内容に対する話し手の心的態度の表現で、ポルトガル語では直説法と接続法の区別が重要である。直説法は、話し手が表現内容を「**事実として客観的に提示する**」ときに用いられる動詞の変化形である。

A nossa filha não gosta de Madrid. うちの娘はマドリッドが嫌いだ
 A senhora trabalha aqui? あなたはここで働いているのですか
 Ele corre dois quilômetros por dia. 彼は一日に2キロ走る
 Ela parte para a Europa amanhã. 彼女は明日ヨーロッパに発つ
 A Terra gira em torno do próprio eixo. 地球は自身の軸の周りを回っている

② 指示形容詞, 指示代名詞

直示的に用いられる場合は, それぞれ話し手に近いもの (este...), そして聞き手に近いもの (esse...), 両者から離れているもの (aquele...) を指して用いられる.

	指示形容詞・指示代名詞				指示代名詞
	男性単数	女性単数	男性複数	女性複数	(中性＝不変化)
この..., これ	este	esta	estes	estas	isto
その..., それ	esse	essa	esses	essas	isso
あの..., あれ	aquele	aquela	aqueles	aquelas	aquilo

este homem この男 esta terra この土地 esses rapazes その青年たち

aquelas raparigas あの娘たち (ブ = aquelas moças)

Este filme é muito interessante. この映画はとても面白い

Aqueles homens são empregados da loja. あの男たちはその店の店員です

O que é isto? — Isso é uma lembrança de Portugal.

これは何ですか — それはポルトガルのお土産です

Isto é uma vergonha. これは恥だ Mas isso é secundário. しかし, それは二次的なことだよ

③ 指示的副詞

aqui ここ	cá こっち
aí そこ	
ali あそこ	lá あっち

Aqui ficam alguns exemplos. ここにいくつかの例があります

Ele está cá em casa. 彼は家の中にいます. (話し手も...)

Ela está lá em casa. 彼女は家の中にいます. (話し手は...)

isto aqui これ isso aí それ

ブラジルの話し言葉では este..., isto, aqui と esse..., isso, aí の間の区別が失われ, 2系列の体系に移行している. esse, isso などが普通の形である.

◆前置詞と指示詞などの結合形

de + este..., esse..., aquele..., isto, isso, aquilo, ele..., aqui, aí, ali

→ deste..., desse..., daquele..., disto, disso, daquilo, dele..., daqui, daí, dali

em + este..., esse..., aquele..., isto, isso, aquilo, ele...

→ neste..., nesse..., naquele..., nisto, nisso, naquilo, nele...

a + aquele, aquela, aqueles, aquelas, aquilo

→ àquele, àquela, àqueles, àquelas, àquilo

練習問題V

(1) 次の名詞や形容詞を複数形にしない。

- ① país ② gente ③ homem ④ professor ⑤ limão ⑥ mão ⑦ pão ⑧ civil ⑨ fácil
⑩ jornal ⑪ nível ⑫ papel ⑬ azul ⑭ paul ⑮ português ⑯ alemã ⑰ atlas ⑱ jardim
⑲ avião ⑳ estação

(2) 次の動詞を活用させてみましょう。

ser estar gostar ficar achar trabalhar andar chegar passar olhar dever falar
levar pensar tirar chamar comprar deixar viver vender pagar perceber entrar
acabar ganhar arranjar comer estudar meter apanhar interessar tratar continuar

(このリストは単語の頻度表から上位250語について不規則動詞など未習のものを除き頻度の高い順に並べたものである。)

(3) 次の括弧の中の動詞を適当な形に変化させ、訳しましょう。

- ① Eles _____ (gostar) de ouvir música.
② O sol _____ (nascer) mais tarde no inverno.
③ Nós _____ (morar) no Rio de Janeiro.
④ Ela _____ (ligar) o rádio para ouvir notícias.
⑤ O Pedro _____ (escrever) muitas cartas todas as semanas.
⑥ Ele _____ (abrir) a porta e _____ (entrar) na sala.
⑦ Eu não _____ (entender) alemão.
⑧ Aquele menino _____ (mentir) muito.
⑨ Os rapazes _____ (estar) no Brasil.
⑩ Ela _____ (ser) estrangeira.
⑪ O relógio de Maria _____ (estar) atrasado.
⑫ As páginas do livro _____ (ser) brancas.

(4) 作文しなさい。

- ① 私たちは学生です。 ② 彼女の友達はブラジル人です。
③ 先生の車は新しくはありません。 ④ 私はこの学校の教師ではありません。
⑤ マリオは独身ですが、イザベルは結婚しています。
⑥ イザベルはとても頭がよく、陽気です。
⑦ 教室は廊下の奥にあります。 ⑧ 彼は今日はとても疲れています。
⑨ 私はフランス語を話しません。 ⑩ あなたは先生がどこに住んでいるか知っていますか?
⑪ 私たちはポルトガルを旅行します。 ⑫ 彼らはブラジルに住んでいます。
⑬ 私は私の車を売ります。 ⑭ 私たちはブラジルが大好きです。

6. 不規則動詞の直説法現在と所有詞, 比較級, 最上級, 指小辞

Ela vai direto para o quarto, acho que janta na rua. Acho que o meu pai não vai mais voltar.
 Bomba?! Como assim, vocês vão matar o pai dela? Vamos beber o quê? Nós temos um plano.
 Nós temos três tipos de quartos, todos muito bons. No meu quarto não tem televisão.
 Eu vou ali que eu tenho que ligar pra uma amiga. Eu não tenho telefone sem fio.
 O sistema capitalista consegue tornar as sociedades mais ricas e livres. Mas as pessoas não são sempre mais felizes.
 Eles podem mudar-se para a Geórgia ou para a Califórnia do Sul onde estarão mais perto de familiares e onde a vida é menos cara do que na zona de Washington.
 As coisas que ela vende não são tão caras como esse chambre.
 Este ano pode ser o mais quente desde que há registros, anunciaram os serviços meteorológicos britânicos.
 Ele é um dos mais ilustres cavaleiros de Espanha.

① 不規則動詞 IR 「行く」, TER 「持つ」の直説法現在

不定詞	IR	TER
1人称単数	vou	tenho
2人称単数	vais	tens
3人称単数	vai	tem
1人称複数	vamos	temos
2人称複数	ides	tendes
3人称複数	vão	têm

TER の3人称の変化形の発音

tem P.['tẽ] / B.['tẽ]

têm P.['tẽĩ] / B.['tẽ]

- ◆ ir は前置詞 a, para を伴って「～へ行く」という意味のほか、不定詞を直接(前置詞なしで)従えて「するつもりだ, ～するだろう」という近い未来の表現(近接未来)にも用いられる。

Ele vai ao mercado segunda-feira de manhã. 彼は月曜の朝, 市場に行きます

O aluno vai para casa / a casa.* その生徒は家に帰ります／行きます

Ela vai à Baixa comprar jornais. 彼女はバイシャに新聞を買いに行きます

O nosso convidado de hoje vai falar de ecologia.

今日我々が招待している人は生態学について話す予定です

- ◆ ter は所有や存在を表す。また **ter que + 不定詞** または **ter de + 不定詞** で「～しなければならない, ～にちがいない」という必要や義務, 断定の表現に用いられる。

Tenho de ir ainda hoje à estação. 私はまだ今日駅に行かなければならない

Ela tem que fazer o jantar. 彼女は夕食を作らなければならない

② 現在進行形「～しているところだ」

estar a + 不定詞 はポルトガルのポルトガル語では進行形を表す。ブラジルではa + 不定詞の代わりに現在分詞gerúndioを用い, 進行形は **estar + 現在分詞** である。現在分詞は, 不定詞の語尾 **-ar, -er, -ir**をそれぞれ **-ando, -endo, -indo**に置き換える。(ただしpôrはpondo.)

Estou a ler um livro muito interessante. 私はとても面白い本を読んでいるところです

③ 直説法現在における第3変化 -IR の不規則動詞

不定詞	SERVIR 仕える	DORMIR 眠る	SUBIR 上る
1人称単数	sirvo [i]	durmo [u]	subo [u]
2人称単数	serves [ɛ]	dormes [ɔ]	sobes [ɔ]
3人称単数	serve [ɛ]	dorme [ɔ]	sobe [ɔ]
1人称複数	servimos P[i]/B[e]	dormimos P[u]/B[o]	subimos [u]
2人称複数	servis P[i]/B[e]	dormis P[u]/B[o]	subis [u]
3人称複数	servem [ɛ]	dormem [ɔ]	sobem [ɔ]

conferir, repelir, discernir, inserir, repetir「繰り返す」, divergir, preferir「～をより好む」, seguir「～に続く」, ferir「傷つける」, referir, sugerir「示唆する」, despir, refletir, vestir「着る」, mentir「うそをつく」, sentir「感じる」, tossir「咳をする」, engolir, cobrir, descobrir「発見する」や acudir, bulir, cuspir「つばを吐く」, fugir「逃げる」, consumir, sacudir, sumir「消える」などがこのタイプの変化をする。

Eu prefiro ver televisão sem som. 私は音を消してテレビを見るほうを好む

Estas pessoas ficam em casa porque não conseguem sair na rua.

通りに出ることが出来ないで、このような人たちは家にいる

④ 所有詞

i) 所有形容詞

主語代名詞	対応する所有形容詞			
	男性単数	女性単数	男性複数	女性複数
eu	meu	minha	meus	minhas
tu	teu	tua	teus	tuas
nós	nosso	nossa	nostros	nossas
vós	vosso	vossa	vossos	vossas
você(s) o(s) senhor(es) a(s) senhora(s) ele(s) / ela(s)	seu	sua	seus	suas

ポルトガルのポルトガル語では所有形容詞が名詞を修飾する時、定冠詞をその前に付けなければいけない。定冠詞は(自分の)親族の名称を表す名詞の時は省略することが出来る。(ただし、ポルトガルの現代語では親族名称でも定冠詞をつける用法が一般化している。)

o meu carro 私の車 os nossos livros 私たちの本(複数) meu pai 私の父

minha irmã 私の妹(姉) o teu pai 君のお父さん

a sua mãe あなたの(彼の、彼女の、あなたがたの、彼らの、彼女たちの)お母さん

ブラジルの話し言葉のポルトガル語では定冠詞は省略されるほうが多い。

⇒ meu carro, nossos livros...

O nosso colégio está fechado. (P) 私たちの学校は閉まっている

Abriu a porta de sua residência. (B) 彼の住居の扉が開いた

Aquele carro é o teu? / Aquele carro é teu? あの車は君のですか?

Tua mãe vai gostar. お母さんが喜ぶよ

ii) 所有表現

所有者が3人称の *ele, ela, eles, elas* であることを示すために、次のような名詞に後置される形が用いられる。これらは前置格の代名詞からなる前置詞句なので変化しない。

<i>dele</i> 彼の	<i>dela</i> 彼女の	<i>deles</i> 彼らの	<i>delas</i> 彼女たちの
----------------	-----------------	------------------	--------------------

o livro dele 彼の本 *as canetas dele* 彼のペン *os apontamentos dela* 彼女のノート

O último romance dele é uma porcaria. 彼の最新の小説は駄作だ

Está calor ou é impressão minha? 暑いですか、それとも私の思いこみですか？

◆ ポルトガルのポルトガル語では話し言葉で *vosso* は *vocês* に対する所有形容詞として用いられることがある。

— *Esta pesquisa é vossa?* この研究は君たちのですか？

— *É nossa, é. O que é que achou?* そう、私たちのです。どう思われます？

⑤ 形容詞と副詞の比較級

形容詞や副詞の規則的な比較級は、その前に **mais**「～より～だ」や **menos**「～ほど～でない」をつける。比較される対象を表現するときは **(do) que...** が用いられる。

Esta lição é mais difícil do que a precedente. この課は前の課よりも難しい

A moça é menos cuidadosa do que os outros. その娘は、他の者たちよりも気がきかない

tão + 形容詞・副詞 + como (または **quanto**)...という同等比較の構文もある。

Eles são tão inteligentes quanto elas. 彼らは彼女たちと同じくらい頭がよい

i) 優等比較級 **mais + 形容詞・副詞 + (do) que...** 「・・・より・・・だ」

ii) 劣等比較級 **menos + 形容詞・副詞 + (do) que...** 「・・・ほど・・・でない」

iii) 同等比較級 **tão+形容詞・副詞+como**(又は **quanto**)... 「・・・と同じ位・・・だ」

Pedro é mais estudioso do que Paulo. ペドロはパウロより勤勉だ

O professor anda mais depressa do que os alunos. その先生は生徒たちより早く歩く

比較構文の中にふたつの形容詞を挿入して、ひとつの対象に関してふたつの性質を比較するという構文も可能である

Paulo é mais inteligente do que estudioso. パウロは、勤勉というより頭がよいのである

実際には、比較される対象は文脈などから明らかな場合が多く、現れないのが普通である。

Mas as primeiras impressões são as mais honestas. しかし、最初の印象がより正直である

A sociedade iraniana tem vindo a estar dividida entre clérigos mais conservadores e clérigos mais moderados. イラン社会は、より保守的な聖職者とより穏健な聖職者の間に分割されてきています

さらに比較級は bem, muito, ainda などでも強められることがある。

A cultura europeia é muito mais antiga. ヨーロッパの文化はもっとより古いです

⑥ 不規則な比較級

原級	比較級	原級	比較級
(形容詞) bom mau grande pequeno	melhor pior maior menor	(副詞) bem mal (不定形容詞) muito pouco	melhor pior mais menos

副詞と不定形容詞の比較級は変化しない。ポルトガルのポルトガル語では menor より mais pequeno が普通に用いられる。

Sorvi o primeiro gole de café. Não era pior nem melhor do que o do bar do hospital.

私はコーヒーの最初の一口を啜った。病院のバーのものより悪くもよくもなかった

Já te deste bem conta de que o Sol é uma das estrelas mais pequenas do Universo?

君はすでに太陽は宇宙のより小さな星のひとつに過ぎないということ考えたことがあるかい？

⑦ 形容詞の相対最上級

「～の中でもっとも～だ」という形容詞の相対最上級は比較級に定冠詞をつけた形である。比較される対象は普通 de で示される。

定冠詞 + 形容詞の比較級 + de... 「・・・のうちに最も～だ(でない)」

Carlos é o aluno mais estudioso do Colégio. カルロスが学校でもっとも勤勉な生徒だ

Este aluno é o mais estudioso do Colégio. この生徒は学校でもっとも勤勉です

比較される対象が、関係文などで示されることもある。

João foi o colega menos leal que conheci.

ジョアンは、私が知っている限りもっとも信頼できない同僚だった

次のような文では、文脈によって比較級とも最上級ともとれる。

O Daguestão e a Tchetchénia são as zonas mais complicadas.

ダゲスタンとチェチェニアがもっとも（／より）複雑な地域である

Os fósseis moleculares que encontrámos são as mais antigas moléculas biológicas preservadas no mundo. 我々が発見した分子の化石は、世界に残っているもっとも古い生物の分子である

um (/uma) dos (/das) mais (/menos) + 形容詞の複数形 「もっとも～である（／ない）もののうちのひとつ」といった表現が用いられることもある。

Este homicídio é um dos mais célebres do século na América.

この殺人事件は今世紀もっとも有名なもののひとつである

副詞には、通常、定冠詞をつけることが出来ないのが最上級は存在しない。しかし、副詞の比較級の後に「可能な限り」を意味する語句がつくと、定冠詞男性単数形の *o* が必要となり、これを文法書によっては副詞の最上級と呼ぶことがある。

Afastei-me o mais depressa que podia a caminho da paragem do autocarro.

私はその場所から可能な限り急いで離れ、バス停のほうへ向かった

Os resultados do referendo em Timor devem ser divulgados o mais rapidamente possível.

チモールにおける国民投票の結果は、可能な限りすばやく公表されなければならない

⑧ 形容詞の絶対最上級

形容詞が表す内容の程度が著しいとき絶対最上級(「とても...な」)が用いられる。絶対最上級には *muito* 「とても」、*intensamente* 「激しく」、*extraordinariamente* 「並外れて」、*excessivamente* 「過度に」、*grandemente* 「大きく」など副詞を用いたものと接尾辞による(総合的な)ものがある。総合的な絶対最上級は、接尾辞 *-íssimo* を形容詞の原級またはその語幹に加える。しかし、接辞を添加するもとの形が現代語ではなくラテン語の語源形だったり、接辞が *-rimo*、*-imo* などになるなど不規則な形も多く存在する。辞書や文法書により形が異なることもある。しかし、総合的な絶対最上級は会話などでは、感情を込めたいときなどに用いられる比較的頻度の高い形式である。また、分析的な絶対最上級としては、最近では上に挙げた強めの副詞に加えて、*super* 「超...」も会話表現でよく聞かれる形が、規範的なポルトガル語としてはまだ認めがたい。

総合的な絶対最上級の形成法

i) 形容詞が母音で終わるときは、その母音を取り、*íssimo* をつける。

belo → *belíssimo* *lindo* → *lindíssimo* *triste* → *tristíssimo*

ii) 形容詞が *-l* または *-r* で終わるときは、そのまま *íssimo* をつける。

vulgar → *vulgaríssimo* *original* → *originalíssimo* *normal* → *normalíssimo*

iii) 形容詞が *-vel* で終わるときは、これを *-bilíssimo* に変える。

amável → *amabilíssimo* *terrível* → *terribilíssimo*

iv) 形容詞が *-z* で終わるときは、これを *-císsimo* に変える。

feliz → *felicíssimo* *capaz* → *capacíssimo* *atroz* → *atrocíssimo*

v) 他に *-ão* → *-aníssimo* などがある。

pagão → *paganíssimo* *vão* → *vaníssimo* *comum* → *comuníssimo*

vi) 例外

amargo → *amaríssimo*

amigo → *amicíssimo*

antigo → *antiquíssimo*

cristão → *cristianíssimo*

cruel → *crudelíssimo*

doce → *dulcíssimo*

bom → *ótimo* (B. *ótimo*)

mau → *péssimo*

difícil → *difícilimo*

fácil → *facílmo*

pobre → *paupérrimo* ou *pobríssimo*

fiel → *fidelíssimo*

nobre → *nobilíssimo*

geral → *generalíssimo*

magnífico → *magnificentíssimo*

simples → *simplicíssimo* ou

simplíssimo

grande → *máximo*

pequeno → *mínimo*

célebre → *celebérrimo*

íntegro → *integérrimo*

livre → *libérrimo*

⑨ 指小辞 *-inho*

名詞や形容詞、副詞などにつく接尾辞に指小辞 *-inho* があります。単語そのものの意味は変えませんが、語調を和らげ、一種の親近感を表現に与えます。話し言葉の、特に打ち解けた文体でよく用いられます。派生の方法は、

単語が子音, 鼻母音, 二重母音や母音接続で終わるものにはそのまま **-zinho** をつけ, それ以外の(子音+)母音で終わる単語にはその母音をとって **-inho** をつけます. 名詞, 形容詞の性数は指小辞の語尾 **-o, -os, -a, -as** で示します.

livro → livrinho gata → gatinha amor → amorzinho pai → paizinho

練習問題VI

(1) 次の括弧の中の動詞を適当な形に変化させ, 訳しましょう.

- ① Os Descobrimentos Portugueses _____ (pertencer) a toda a Humanidade.
- ② Mas porque _____ (ser) que ele _____ (beber) tanto?
- ③ Tu _____ (falar) demasiado depressa para os alunos.
- ④ Eles _____ (decidir) sobre essa matéria.
- ⑤ Eu _____ (recomendar) vivamente o restaurante onde nós _____ (comer) todos os dias.
- ⑥ Você _____ (responder) a essa pergunta e depois _____ (partir) livremente.
- ⑦ Eles _____ (ter) óptimas ideias.
- ⑧ Eu _____ (beber) cerveja e tu, o que _____ (beber)?
- ⑨ Na próxima semana elas _____ (partir) para Bruxelas.
- ⑩ Bruno _____ (marcar) encontro com Isabela em uma festa na casa dos Ferreto.

(2) 例にならって所有表現を完成させましょう.

(例) EU o sapato → (o) meu sapato

- | | | | |
|---------------------|----------------|-----------------|----------------|
| ① NÓS os filhos | ② EU o vestido | ③ ELE o relógio | ④ ELA a camisa |
| ⑤ VOCÊ as meias | ⑥ TU a mala | ⑦ EU as calças | ⑧ ELES o carro |
| ⑨ ELAS a casa | ⑩ TU a saia | ⑪ EU os tênis | ⑫ VOCÊ o lápis |
| ⑬ VOCÊ os projectos | ⑭ NÓS as irmãs | ⑮ VOCÊ a ideia | ⑯ NÓS o pai |
| ⑰ EU os irmãos | ⑱ TU a avó | ⑲ ELE os avôs | ⑳ ELA a sogra |

(3) 次の文を読んで訳しなさい

- ① Do ponto de vista arqueológico, o projecto foi também chumbado.
- ② Desde que nasci, há 18 anos, que não conheço um clube melhor.
- ③ Ainda ontem, não, anteontem, tive um sonho estranhíssimo.
- ④ O plano foi discutidíssimo entre os militares, que não estavam de acordo quanto ao que fazer em matéria económica.
- ⑤ E há o local, que é bellissimo, um dos poucos sítios do mundo onde se faz um festival num anfiteatro com relva onde o público se pode deitar.
- ⑥ Um dia, junto à estátua do Camões, encontrei o Álvaro, acompanhado pela irmã.
- ⑦ A notícia espalhou-se, ainda que Bel só tinha avisado os parentes mais chegados, o tio Constâncio e a Angé, que acaba de chegar.

7. 不規則動詞の直説法現在, 数詞, 時の表現

Eu faço um desenho para ti. É o que eu digo para as meninas se elas me perguntam.
 Eu vou te esperar até às onze e trinta. Quanto é o detergente? -- Um real e quinze centavos.
 Eu ganho dois salários mínimos, são trezentos e dois reais por mês. Com os descontos, duzentos e noventa. O preço dum tênis. Não gasto em transporte, vou a pé para a loja e não saio nunca.
 O mais divertido é ficar bem longe e ver uma pessoa bem de perto.
 Aí eu vou na cozinha, pego alguma coisa na geladeira e vou pra sala.
 Ligo a tevê e fico vendo bem pouco de tudo. Você tem que prestar atenção na aula.

① 直説法現在における不規則動詞

	fazer する	dizer 言う	trazer 持って来る	ouvir 聞く	pedir 頼む
1人称単数	faço	digo	trago	ouço (oiço)	peço
2人称単数	fazes	dizes	trazes	ouves	pedes
3人称単数	faz	diz	traz	ouve	pede
1人称複数	fazemos	dizemos	trazemos	ouvimos	pedimos
2人称複数	fazeis	dizeis	trazeis	ouvis	pedis
3人称複数	fazem	dizem	trazem	ouvem	pedem

	perder 失う	poder ～出来る	saber 知っている	pôr 置く	querer を望む
1人称単数	perco	posso	sei	ponho	quero
2人称単数	perdes	podes	sabes	pões	queres
3人称単数	perde	pode	sabe	põe	quer
1人称複数	perdemos	podemos	sabemos	pomos	queremos
2人称複数	perdeis	podeis	sabeis	pondes	quereis
3人称複数	perdem	podem	sabem	põem	querem

	crer 信じる	ler 読む	ver 見る	vir 来る	dar 与える	sair 出る
1人称単数	creio	leio	vejo	venho	dou	saio
2人称単数	crês	lês	vês	vens	dás	sais
3人称単数	crê	lê	vê	vem	dá	sai
1人称複数	cremos	lemos	vemos	vimos	damos	saímos
2人称複数	credes	ledes	vedes	vindes	dais	saís
3人称複数	crêem	lêem	vêem	vêm	dão	saem

	(a) construir 建設する	(b) conhecer 知る
1人称単数	construo	conheço
2人称単数	construis / constróis	conheces
3人称単数	construi / constrói	conhece
1人称複数	construímos	conhecemos
2人称複数	construíis	conheceis
3人称複数	construem / constroem	conhecem

(a) destruir, possuir...,

(b) conseguir, ficar, chegar...

* vem P.[¹vẽĩ]/B.[¹vẽĩ]

vêm P.[¹vẽĩĩ]/ B.[¹vẽĩ]

cf. lêem P.[¹leĩĩ]/ B.[¹leĩĩ]

② 数詞

i) 基数と序数

	(基数)	(序数)
0	zero *	
1	um / uma	primeiro
2	dois (dous) / duas	segundo
3	três	terceiro
4	quatro	quarto
5	cinco	quinto
6	seis (B.: meia)	sexto
7	sete	sétimo
8	oito	oitavo
9	nove	nono
10	dez	décimo
11	onze	undécimo, décimo primeiro
12	doze	duodécimo, décimo segundo
13	treze	décimo terceiro
14	catorze, quatorze	décimo quarto
15	quinze	décimo quinto
16	dezassex (B.: dezesseis)	décimo sexto
17	dezassete (B.: dezessete)	décimo sétimo
18	dezoito	décimo oitavo
19	dezanove (B.: dezenove)	décimo nono
20	vinte	vigésimo
21	vinte e um / uma	vigésimo primeiro
22	vinte e dois / duas	vigésimo segundo
30	trinta	trigésimo
40	quarenta	quadragésimo
50	cinquenta (B.: cinqüenta)	quingentésimo
60	sessenta	sexagésimo
70	setenta	septuagésimo
80	oitenta	octogésimo
90	noventa	nonagésimo
100	cem	centésimo
101	cento e um / uma	centésimo primeiro
200	duzentos / -as	ducentésimo
300	trezentos / -as	trecentésimo
400	quatrocentos / -as	quadringentésimo
500	quinhentos / -as	quingentésimo
600	seiscentos / -as	seiscentésimo, sexcentésimo
700	setecentos / -as	septingentésimo
800	oitocentos / -as	octingentésimo
900	novecentos / -as	nongentésimo
1000	mil	milésimo
10 000	dez mil	dez milésimos
100 000	cem mil	cem milésimos

1 000 000	um milhão	milionésimo
1 000 000 000	um bilhão (bilião)	bilionésimo

* grau zero, desinência zero

cem por cento cento e cinquenta um cento de bananas
 um conto = mil escudos (*antigamente em Portugal...)
 trinta e cinco quatrocentos e quarenta e nove mil oitocentos e setenta e dois
 mil e novecentos mil e cinco dois milhões
 duzentos e noventa e três mil quinhentos e oitenta e cinco
 quatrocentos e quinze milhões, setecentos e trinta e um mil duzentos e treze

Gregório VII (sétimo)	Pedro V (quinto)	Luís XIV (catorze)	século XX (vinte)
página 5 (cinco)	Quinta página	duzentas e cinco mesas	

ii) 分数と倍数

(分(母)数)	(倍数)
meio, metade	duplo, dobro, dúplice
terço	triplo, triplice
quarto	quádruplo *
quinto	quíntuplo *
sexto	sêxtuplo *
sétimo	séptuplo *
oitavo	óctuplo *
nono	nónuplo (B.: nōnuplo) *
décimo	décuplo *
undécimo, onze avos	undécuplo *
duodécimo, doze avos	duodécuplo *
centésimo	cêntuplo *

* quatro vezes, cinco vezes, oito vezes...

treze avos, desanove avos, vinte e cinco avos

um terço, três quintos, cinco treze avos (×um meio)

③ 時の表現

Que horas são? 「何時ですか?」 (ポ俗: Tem horas?)

i) 動詞 Ser + 時(数字) + e + 分(数字) 「～時～分です」

É uma (hora) e quarenta e dois (minutos). 1時42分です

São duas (horas) e meia. 2時半です

São cinco e um quarto. 5時15分です

É meio-dia em ponto. お昼ちょうどです

ii) 動詞 Ser + 時(数字) + menos + 分(数字) 「～時～分前です」

São duas menos sete. 2時7分前です

É meia-noite menos vinte. (夜中の)0時20分前です

iii) 動詞 Ser + 分(数字) + para + a(s) + 時(数字) 「～時～分前です」

São vinte para a uma. 1時20分前です

São onze para as três. 3時11分前です

É um quarto para as seis. 6時15分前です
 iv) 動詞 Faltar + 分(数字) + para + a(s) + 時(数字) 「～時～分前です」
 Faltam quinze para as onze. 11時15分前です
 Falta um quarto para o meio-dia. お昼まで15分です
 Faltam cinco para a meia-noite. 0時5分前です

A que horas ... ? 「何時に...しますか？」

— ... à uma e 分(数字) (1時台のとき) 「～時～分に...します」
 — ... às 時(数字) e 分(数字) (2時台のとき)

A que horas é que o senhor parte para o Brasil amanhã?

あなたは明日何時にブラジルに向けて出発しますか？

— Vou partir às oito e vinte da manhã. 午前8時20分に出発します

da manhã, da tarde (午前の, 午後の)

Às 21:00, a Paula está na livraria para uma sessão de autógrafos.

21時にパウラはサイン会のためにその本屋にいます

④ 曜日と月と季節

dia da semana: domingo, segunda-feira, terça-feira, quarta-feira, quinta-feira, sexta-feira, sábado

毎週～曜日にというときは複数形にして定冠詞と前置詞をつける。前置詞は em や a を用いる。曜日に形容詞がつき特定されているときも前置詞を用いる。その他の場合は、単独で副詞的に用いる。

A novela “História de Amor” começa quinta-feira às 22h40.

テレビドラマの愛の物語は木曜日の22時40分に始まる

O programa vai ao ar às terças-feiras. その番組は毎週火曜日に放送される

No último domingo encontrei-me com a namorada do Mário no centro comercial.

この前の日曜日に私はショッピングセンターでマリオの恋人に会った

mês: Janeiro, Fevereiro, Março, Abril, Maio, Junho, Julho, Agosto, Setembro, Outubro,

Novembro, Dezembro (B.: janeiro, fevereiro, março...)

em Dezembro em Maio no dia 25 de Abril em (/a) 24 de Maio

estação do ano: primavera, verão, outono, inverno

na Primavera no Verão no Outono no Inverno

⑤ 基本的な動詞の用法 Poder と Dever

poder は「～出来る, ～かもしれない」という可能性を, dever は「～しなければならない, ～にちがいない」という義務や断定の意味で用いられます。poder や dever はあとに不定詞が直接続きます。

Eu não posso pagar a Sílvia com a nota falsa. 私はシルヴィアに偽札で払うことは出来ない

Isso pode levar uns seis meses. それには約半年ほどかかるかもしれない

Pode ser. おそらくそうです O senhor pode ficar a vontade. 気楽にしてください。

Os alunos devem estudar mais. 生徒たちはもっと勉強しなければならない

Deve ser uma foto. それは1枚の写真にちがいない

Calcinha, camiseta, essas coisas devem ser bem mais baratas.

パンティーやTシャツとか, そういうものはずっともっと安いにちがいない

また, Posso ...? 「...してよいですか？」や Pode...? 「...してくれますか？」といった使い方もあります。

Posso te ajudar? 手伝おうか？

Posso te fazer uma pergunta? ひとつ聞きたいことがあるんだ

Pode levar esta mala ao quarto? このトランクを部屋まで持って行ってくれますか？

Dever には、上の用法の他に「...を～(a)に負っている」という用法もあります。一般に義務の意味では *ter que...* や *ter de...* が多く用いられ、*dever* が不定詞に従えるときは断定や強い推量の意味で用いられることが多いと言えます。

Ele deve a sua fortuna à herança de uma tia materna. 彼は自分の財産を母方のおばの遺産に負っている

⑥ 基本的な動詞の用法 *Gostar* と *Querer*

gostar (de...) は「...を(することが)好きである」、*querer* は「...が欲しい、...したい」の意味で用いられます。*querer* のあとには名詞や不定詞が直接続きますが、*gostar* は前置詞の *de* を用いなければなりません。程度を修飾する副詞の *muito*「とても」は動詞と *de* の間に入ります。

Gostas de Portugal? ポルトガルが気に入った? Tu gostas de cerveja? 君、ビール好き?

Ele gosta muito de jogar ténis. (プ: ténis) 彼はテニスをするのがとても好きです

Não gosto destas mesas, rapaz. あのさ、こういうテーブルはきらいなんだ

Eu não quero ir a aula! 授業には行きたくないんだ! Eu quero a grana do assalto. 俺が欲しいのは奪った金さ

Tu queres doce de leite ou creme? 君はミルクケーキか、クリームかどちらがいい?

練習問題Ⅶ

(1) 次の括弧の中の動詞を適当な形に変化させ、訳しましょう。

- ① Eu _____ (dar) um livro à mãe.
- ② Tu _____ (crer) que eu _____ (dizer) a verdade?
- ③ Tu _____ (dizer) que a língua portuguesa é muito difícil?
- ④ Eu _____ (fazer) muito exercício físico.
- ⑤ Ele _____ (ler) muito pouco.
- ⑥ Ela _____ (perder) dinheiro frequentemente?
- ⑦ O senhor _____ (poder) assistir à aula mas eu não _____ (poder) deixar assistir outros alunos.
- ⑧ Vocês _____ (querer) ir ao cinema?
- ⑨ Tu _____ (saber) onde está o Luís? Sim, _____ (saber)
- ⑩ Eu não _____ (ver) televisão mas eles _____ (ver).
- ⑪ Eu _____ (pedir) dinheiro à minha mãe.
- ⑫ Eu _____ (ouvir) o rádio todas as manhãs.
- ⑬ Sempre que nós _____ (partir) para férias, _____ (levar) muitas coisas.
- ⑭ Normalmente nós _____ (ouvir) o Telejornal das oito.
- ⑮ _____ (ser) sempre muito difícil julgar as pessoas pelas aparências.

(参考) 次の動詞を活用させてみましょう。

ter *dizer* *ir* (*haver*) *fazer* *querer* *saber* *poder* *vir* *dar* *ver* *começar* *sair* *conhecer* *parecer* (*conseguir*) (*sentir*) *acontecer* *aparecer* *pedir* *trazer* *ler* *resolver* *tomar* *procurar* *aprender* *precisar* *notar* *existir* *criar* *contar* *morrer* *deitar* *escrever* *partir* *lembrar* (*servir*) *tentar* *perder* *receber* (*valer*) *compreender* *casar* *voltar* (*seguir*) *perguntar* *custar* *abrir* *buscar* *considerar* *tornar* *ajudar* *matar* *cortar* *cair* *escolher* *levantar* *usar* *crer* *correr* *aproveitar* *costumar* *esperar* *explicar* *bater* *nascer* *pegar* *faltar* (*fugir*) *obrigar* *tocar* *ensinar* *mostrar* *dedicar* *ligar* *mudar* (*dormir*) *julgar*
(このリストは単語の頻度表から上位500語に入る動詞から、14ページの練習問題Ⅴの(2)で挙げたものを除き、頻度の高い順に並べたものである。括弧の動詞は活用パターンが未習のものである)

8. 直説法(完了)過去と直説法半過去, 存在と時間の表現

Roosevelt foi presidente dos Estados Unidos, ele era casado com uma gordinha que era prima dele. Ele ficou muito conhecido por causa da Doutrina Roosevelt, que não deu tempo de eu ler o que era. Nem sei direito o que é doutrina, acho que é um monte de regras. Parece o nome de uma velha. Vó Doutrina.

Da janela do meu quarto eu vejo um clube, o Gondoleiros. No teto do prédio tem uma gôndola. Eu não sei se em Porto Alegre já teve alguma gôndola.

① 規則動詞の直説法(完了)過去(「～した, ～したところである」)

	falar	vender	abrir
1人称単数	falei	vendi	abri
2人称単数	falaste	vendeste	abriste
3人称単数	falou	vendeu	abriu
1人称複数	falámos	vendemos	abrimos
2人称複数	falastes	vendestes	abristes
3人称複数	falaram	venderam	abriram

② 直説法半過去(「～していた, ～したものだった」)

	falar	vender	abrir
1人称単数	falava	vendia	abria
2人称単数	falavas	vendias	abrias
3人称単数	falava	vendia	abria
1人称複数	falávamos	vendíamos	abríamos
2人称複数	faláveis	vendíeis	abríeis
3人称複数	falavam	vendiam	abriam

過去では不規則になるものが多いが, 半過去で不規則になるのは次の4つの動詞だけである.

	ser	ter	pôr	vir
1人称単数	era	tinha	punha	vinha
2人称単数	eras	tinhas	punhas	vinhas
3人称単数	era	tinha	punha	vinha
1人称複数	éramos	tínhamos	púnhamos	vínhamos
2人称複数	éreis	tínheis	púnheis	vínheis
3人称複数	eram	tinham	punham	vinham

過去形の名称には次のようなものもある.

(完了)過去	点過去	完了過去	完全過去
半過去	線過去	不完了過去	不完全過去

③ 不規則動詞の直説法(完了)過去(完了幹が不規則)

	ser	estar	ter	ir	fazer	dizer	trazer
1人称単数	fui	estive	tive	fui	fiz	disse	trouxe
2人称単数	foste	estiveste	tiveste	foste	fizeste	disseste	trouxeste
3人称単数	foi	esteve	teve	foi	fez	disse	trouxe
1人称複数	fomos	estivemos	tivemos	fomos	fizemos	dissemos	trouxemos
2人称複数	fostes	estivestes	tivestes	fostes	fizestes	dissestes	trouxestes
3人称複数	foram	estiveram	tiveram	foram	fizeram	disseram	trouxeram

querer	poder	saber	ver	vir	dar	sair	pôr
quis	pude	soube	vi	vim	dei	saí	pus
quiseste	pudeste	soubeste	viste	vieste	deste	saíste	puseste
quis	pôde	soube	viu	veio	deu	saíu	pôs
quisemos	pudemos	soubemos	vimos	viemos	demos	saímos	pusemos
quisestes	pudestes	soubestes	vistes	viestes	destes	saístes	pusestes
quiseram	puderam	souberam	viram	vieram	deram	saíram	puseram

不規則動詞では2人称単数および1, 2, 3人称複数形において語幹末の強勢母音が e で綴られる時は [ɛ] となる。(例: trouxe [ˈtroʃi]/B.[ˈtroʃi], trouxeste [troˈʃɛʃti], trouxemos [troˈʃemuʃ]/B.[troˈʃemus], trouxeram [troˈʃɛrẽũ] cf. vendeste [vẽˈdɛʃti], vendemos [vẽˈdemuʃ]...)

④ 過去と半過去の用法

過去は「発話時点より前に起きた事象を、現在に視点を置いて、完了したものとして示す」時制で、日本語の「～した, してしまった」にあたる。事象が完了していることが表現の中心になることもあり、対象となる過去の事象が直前の場合もある。(「(ちょうど)～したところだ」) これに対して、**半過去**は、「**過去のある事象を展開中の一局面でとらえて表現する**」もので、いわば過去に移行した現在時制である。その過去の時点に視点が置かれ、出来事の過程そのものが表現の中心になるので、**過去において継続していた事柄**(「～していた」)や**繰り返し起った出来事**, **習慣**(「～したものだ」)などを表す。ある過去の事実を表現するのに、過去を用いるか、半過去を用いるかは**話し手による視点の選択**と関係している。そのため、いずれの形も文法的に可能な場合も多いが、前後の文脈などから視点が制限され、いずれかしか使えないという場合も生じる。この2つの時制の区別はポルトガル語では基本的なものであるので、使い分けに注意する必要がある。なお、ポルトガル語では過去に関して、他のロマンス語におけるような複合過去の発達は見られない。

i) 過去の用例

Alfred Hitchcock nasceu em 1899, numa família da pequena burguesia londrina.

アルフレッド・ヒッチコックは1899年ロンドンの小ブルジョアの家庭に生まれた

Também o número de instalações sanitárias duplicou. 衛生関係の施設の数も倍になった

Mas a notícia apanhou quase de surpresa as autoridades portuguesas.

しかし、その知らせはポルトガル当局筋にとってはほとんど驚きであった

Um dia, acidentalmente, na rua, voltei a encontrar o Álvaro.

ある日、たまたま、私は道でアルvaroに再び出会った

Foi essa a última vez que estive com o Álvaro. それが私がアルバロに会った最後だった
Só no início do século XIV começaram a aparecer essas narrações.

14世紀初頭になってはじめてこのような語りが現れ始めた

歴史叙述には現在形が用いられることもある。(歴史的現在)

A descolonização de Moçambique domina a agenda política do Verão de 1974.

モザンビークの脱植民地化は1974年夏の政治日程の中心だった

ii) 半過去の用例

Os alunos estavam sentados. その生徒たちは座っていた

No 25 de Abril, Samora tinha 15 anos. 4月25日革命の時、サモラは15歳であった

Pensava em não ir à tropa, e não fui. 私は軍隊に行かないつもりだったし、実際に行かなかった

Cada uma das caixas continha 500 maços de tabaco da marca americana "Winston".

一つ一つの箱にはアメリカタバコの“ウィンストン”が500パッケージ入っていた

O periquito dormitava no poleiro. インコは止まり木の上で居眠りをしていた

iii) 両者が対照的に用いられている例

Estávamos num café e pedi segunda bica. 私たちはあるカフェーにいて、私は2杯目のビーカを注文した

De noite, a temperatura subiu e, pela manhã, Márcia já estava no hospital.

夜に熱が上がり、朝方にはマルシアはもう入院していた

Quando eu cheguei à estação ao meio-dia, ele já esperava por mim em frente da estátua.

私が正午に駅についたとき、彼はすでに彫像の前で待っていました

Meu pai morreu quando eu tinha onze anos. 私の父は、私が11歳の時に死にました

Uns dias depois eu achei que ele estava me seguindo na rua.

数日後、彼は通りで私の後をつけていました。

⑤ 存在と時間の表現 (動詞 haver)

動詞 haver の直説法現在と直説法(完了)過去

	直説法現在	直説法過去
1人称単数	hei	houve
2人称単数	hás	houveste
3人称単数	há	houve
1人称複数	havemos	houvemos
2人称複数	haveis	houvestes
3人称複数	hão	houveram

現代語では動詞 haver の用法は限られている。本動詞としては3人称単数で「...がある、いる」にあたる存在表現に用いられる。人称と数は意味に関わりなく固定しているが、法と時制の変化は普通に見られる。

(接続法現在の1人称単数形は haja)

Há alunos estrangeiros na turma dela. 彼女のクラスには外国人の生徒がいます

Havia muita gente na cerimónia. その式典にはたくさんの人々がいました

Não havia como fugir da crueldade das perguntas e ele não lhe fugiu.

その心無い質問から逃れるすべはなく、彼はそれから逃げなかった

Eu nada quero saber de política, Jorge, mas há coisas que me fazem sentir responsável e abjecto.

ジョルジュ、私は政治には何の関心もないが、それでも自分にも責任がありわが身が卑しいと思わせることがあるんだよ

また、この haver の単人称的用法は、**時間に関係する語句を伴って「～前に」(過去形と)や「～の間」(現在形と)という時の経過を表現する**。意味をはっきりさせるため antes 「前に」や desde 「～以来」などを伴うことがある。

Conheço-o (desde) há dois anos. 私は彼と二年間知り合いである

Conheci-o há dois anos (antes). 二年前に彼と知り合った

この表現が文頭にくると接続詞のqueが挿入されることがある。

Há três semanas (que) ela faz dieta. (= Ela faz dieta há três semanas.)

3週間、彼女はダイエットをしてる

Há dias, em Londres, soube da morte dele. 数日前にロンドンで彼の死を知った

O José tem direito à terra porque mora nela desde que nasceu, há mais de trinta anos.

ジョゼは、生まれてこのかた 30 年以上もその土地に住んでいるので権利がある

他に haver は haver de (+不定詞)「...ねばならない、であろう」という表現や完了形の助動詞として用いられる。ポルトガルのポルトガル語では haver de の人称形が単音節のときハイフンを用いる。(hei-de, há-de, há-de, hão-de)

Havemos de ir a Lisboa. 私たちはリスボンに行かなければならない

Hei-de conseguir uma boa nota! いい点を取るんだから!

練習問題Ⅷ

次の括弧の中の動詞を適当な形に変化させ、訳しましょう。

- ① No domingo passado eu _____ (votar) nas eleições.
- ② O público _____ (sofrer) com o jogo até ao apito final.
- ③ Ontem vocês _____ (estar) em casa?
- ④ Quando eu ____ (ser) mais nova, _____ (costumar) dar muitos passeios a pé.
- ⑤ _____ (haver) quanto tempo vocês _____ (chegar) a Lisboa?
- ⑥ A Ana _____ (haver) de aprender a jogar ténis
- ⑦ Ele _____ (dever) chegar às três horas, mas já _____ (ser) quatro e ainda não (haver) _____ notícias.
- ⑧ Eu _____ (preferir) peixe porque é mais saudável.
- ⑨ Ontem à noite a luz _____ (faltar) e não _____ (voltar).
- ⑩ O meu filho _____ (nascer) em Coimbra há treze anos.
- ⑪ Quando a polícia chegou, o dono da casa _____ (estar) a almoçar.
- ⑫ Antigamente eu _____ (fumar) muito.
- ⑬ O senhor _____ (ler) o jornal todos os dias?

9. 目的語人称代名詞と再帰動詞, 関係代名詞(1)

Meu nome é Miguel. Era o nome do meu pai. Foi ele quem escolheu o meu. Minha mãe me chamava de Zinho. Ele não gostava, só me chamava de Miguel. Depois ele desistiu e começou a me chamar de Zinho também.

Eu preciso do dinheiro agora. Tu não vais me emprestar?

Eu gosto de ti, tu gostas de mim. Por que é que eu tenho que ir-me embora? Estás a esperar alguém?

Ele disse que quer conversar comigo sozinho, porque é assunto de família.

A gente se conheceu lá no Café Concerto, eu sou amigo da Ana Paula.

O João falou com o Antunes e disse que a gente ia casar-se e mudar-se para o Porto.

Mas uma coisa eu lhe digo, e não é fantasia: o Cardoso é um homem violento, imprevisível.

① 目的語人称代名詞

動詞の主語になる主語代名詞に対して, **動詞や前置詞の目的語になる代名詞**を目的語人称代名詞と呼ぶ。

主語	直接目的	間接目的	前置詞	前置詞 com
eu	me	me	mim	comigo
tu	te	te	ti	contigo
nós	nos	nos	nós	conosco
vós	vos	vos	vós	convosco
você o senhor a senhora ele / ela	o / a (se)	lhe (se)	você ele / ela (si)	(consigo)
vocês os senhores as senhoras eles / elas	os / as (se)	lhes (se)	vocês eles/elas (si)	(consigo)

目的語には直接目的語と間接目的語がある。(→後述)

前置詞のあとでは, 特別な形 (mim, ti, si) が用いられることがある。特に com には結合形が存在する。
(*conosco はポルトガルのポルトガル語では connosco と綴られる)

括弧で示した se, si は, 3人称の再帰代名詞である。再帰代名詞は, 文の主語を受ける代名詞で, 3人称で区別がある。

Ele chamou-os para uma reunião. 彼は彼らを会議に呼んだ。

Ela chamou-lhe vaidoso. 彼女は彼を見栄っ張りと呼んだ。

Aquele homem chama-se José Manuel. あの男はジョゼ・マヌエルという名です。(くと自分を呼ぶ)

Chamo-me Rita Coelho, muito prazer. リタ・コエーリョです, どうぞよろしく。

ポルトガルのポルトガル語では o(s) senhor(es), a(s) senhora(s) など, 聞き手を指す敬称の代名詞として前置詞のあとで si が用いられることがある。(例: Para si? 「あなたに?」) このような用法はブラジルでは見られず, si はもっぱら再帰代名詞である。また, ポルトガルのポルトガル語では vos は vocês に対応する代名詞として広く口語で用いられている。

前置詞のあとで主語代名詞が現れるときは, 前置詞は[主語代名詞+不定詞]の不定詞構文「～が～すること」全体を支配している。

O ônibus tava quase vazio, não dava para eu sentar do lado dela.

バスはほとんどからだったので, 私が彼女のそばに座ることは出来なかった

男性単数形の直接目的格の o には「中性の代名詞」などと呼ばれる特別な用法がある。前に述べた文の全体やその一部など, 「内容」を指し, 特定の名詞句を受けるものではない。常に単数扱いである。

Tu julgas que ele não é sincero, mas é-o! (o = ser sincero)

君は彼が誠実ではないと思っているが、ところがそうなんだよ

② 直接目的語と間接目的語

動詞と直接結びつく目的語を**直接目的語**、前置詞を介して結びつく目的語を**間接目的語**と呼ぶ。人称代名詞の直接目的、間接目的の区別はほぼこれに対応している。直接目的語を取る動詞を**他動詞**という。

Ofereci à Teresa um disco no dia dos anos.

間接目的 直接目的

私はテーレザにレコードを誕生日にプレゼントした

Procurei várias horas a minha caneta, mas não a encontrei.

私は何時間も私のペンを探したが、それを見つけることは出来なかった

Finalmente encontrou um marido!

彼女は最終的に夫(となる人)を見つけた

Encomendaste-lhe a tradução, ou vais fazê-la tu?

間接目的 直接目的

直接目的

彼(彼女)に翻訳をするよう注文した？、それとも君自身がそれをするのかい

Pelo contrário, expliquei demoradamente à jornalista que me abordou:

間接目的

直接目的

それどころか、私にコンタクトしてきた新聞記者に時間をかけて説明した

③ 目的語人称代名詞の位置

直接目的と間接目的の代名詞は、発話の中で固有のアクセントを持たないので、弱代名詞とも呼ばれる。文中では動詞の前後に置かれ、音声的には動詞と組になって、あたかもひとつの語のように発音される。動詞に対する位置に制約があり、特に、ポルトガルのポルトガル語では、動詞句が1語で構成される定形動詞の場合、(1)肯定の主文や疑問詞を伴わない疑問文では動詞の後に置かれ、これに対し、(2)否定文や疑問詞を伴った疑問文、肯定の主文でも動詞の前に特定の副詞や不定代名詞などが先行するもの、条件文や時の副文などを含む従属文と祈願文では動詞に対して前置されるというのが原則である。弱代名詞は、動詞に対して後置されたときはハイフンでつながるのが正書法上の決まりである。ブラジルのポルトガル語では、弱代名詞は動詞に対して前置されるのが圧倒的傾向であるが、文章語ではポルトガルのポルトガル語に倣って肯定の主文などで後置されることもある。

(1) 後置

Então eu despeço-me já, pois ainda vou para Setúbal antes do almoço.

それでは私はもうおいとまします、昼前にまだセトゥーバルへ行きますので

Foi-se embora? もう行ってしまった?

O jornalista escreveu a notícia e publicou-a. その記者は記事を書き、それを公開した

(2) 前置

(否定) O polícia passou pelo ladrão e não o viu. 警官は泥棒とすれちがったが、彼を見なかった

(疑問詞) Até quando o esperará ela? 彼女はいつまで彼を待つのであろうか?

(副詞などが先行) Ainda o encontrei várias vezes. まだ、彼に何度か会った

Alguém o tinha avisado. 誰かが彼に知らせていた

(従属文や祈願文) O Joca disse-me que a prenda que lhe deste é magnífica.

ジョカは、君が彼にしたプレゼントはすばらしいと私に言った

Deus te oiça! 神様が君の願いを聞き入れるように Diabos o levem! 悪魔が彼を連れて行け

(その他) A Lurdez fez o bolo mas o Zé é que o comeu.

ルルデスがケーキを作ったが、それを食べたのはゼだ

Ou se decidem ou procuro outra solução. それに決めるか、他の策を探すか

Uma coisa te direi. あることを君に言おう

弱代名詞の前置を引き起こす語: algum, alguém, algo, todo, tudo, cada, muito, pouco, mesmo, qualquer, vários, tanto, já, ainda, sempre, só, também, talvez, bem, mal, apenas, até, quase, somente, ambos (assim や数詞などが含まれる語句では必ずしも前置されない)

(3) その他

Posso ajudar-te? / Posso-te ajudar? 手伝おうか?

Quero fazer-lhe uma surpresa. / Quero-lhe fazer uma surpresa.

彼に思いがけないプレゼントをしたいんだ

Eles têm-me dado muito que fazer. 彼らは私にたくさんの仕事を与えてきた

Aos alunos foi-lhes pedido silêncio. 生徒たちに対して沈黙が要請された

★ ブラジルのポルトガル語における弱代名詞の位置

前置が話し言葉のより自然なスタイルであるが、書き言葉の影響から後置されることもある。

Me parece que... ...のように私には思える (P: Parece-me que...)

Me mostre onde é. どこか私に示してください (P: Mostre-me onde é.)

É de manhã. Se sente a fadiga boa do sono. 朝だ。十分眠った後の心地よさが感じられた

— Me desculpe se falei demais. 私は言いすぎたのならごめんなさい

④ 目的語人称代名詞の結合形

	o	os	a	as
me	mo	mos	ma	mas
te	to	tos	ta	tas
nos	no-lo	no-los	no-la	no-las
vos	vo-lo	vo-los	vo-la	vo-las
lhe	lho	lhos	lha	lhas
lhes	lho	lhos	lha	lhas

文中で直接目的格の代名詞と間接目的格の代名詞が連続する時は後者が先行するが、そのとき直接目的格の o, os, a, as は間接目的の代名詞と結合形を作る。ただし、結合形はブラジルのポルトガル語ではほとんど見られない。結合形では lhe と lhes のちがいは中和される。

O Rui deu-lhos ontem. ルイは、昨日、それらを彼(ら)に与えた

A mãe leu-ta tantas vezes! お母さんが、何度もそれを君に呼んで聞かせたのに！

直接目的格の o, os, a, as は動詞の後に置かれる時、語形変化を起こすことがある。

i) -r, -s, -z で終わる動詞の語形の後に来る時, lo, los, la, las になり, その時 r, s, z は消え, 代名詞はハイフンでつながれる。

falar + o, os, a, as → falá-lo, falá-los, falá-la, falá-las

beber + o, os, a, as → bebê-lo, bebê-los, bebê-la, bebê-las

partir + o, os, a, as → parti-lo, parti-los, parti-la, parti-las

bebemos + o, os, a, as → bebemo-lo, bebemo-los, bebemo-la, bebemo-las

faz + o, os, a, as → fá-lo, fá-los, fá-la, fá-las

ii) 鼻母音で終わる動詞の変化形 (-am, -em, -ão...) の後で no, nos, na, nas になる。

amam + o, os, a, as → amam-no, amam-nos, amam-na, amam-nas

dão + o, os, a, as → dão-no, dão-nos, dão-na, dão-nas

Quis comê-la. 彼はそれを食べたがった

Encontrámo-las na rua. 私たちは彼女たちに道であった

Põe-no em cima da mesa. それをテーブルの上におく

⑤ 再帰動詞の活用 lembrar-se (de...)「...を覚えている」

不定詞	lembrar-se	se lembrar
1人称単数	lembro-me	me lembro
2人称単数	lembras-te	te lembras
3人称単数	lembra-se	se lembra
1人称複数	lembramo-nos	nos lembramos
2人称複数	lembrais-vos	vos lembrais
3人称複数	lembra-se	se lembram

再帰代名詞のついた動詞を再帰動詞という。

ポルトガル語ではすべての動詞に再帰代名詞をつけることが出来る。再帰代名詞は文法的には主語と同じものをさすが、再帰代名詞を含んだ再帰動詞全体として意味を持つと考えたほうがよい。再帰動詞には次の述べるように様々な用法がある。

ポルトガル語には *queixar-se de...*「不平を言う」、

suicidar-se「自殺する」、*atrever-se a...*「敢えて...する」など再帰動詞としてしか使われないものもある。

⑥ 再帰動詞の用法

再帰代名詞は主語と同じものを指示する代名詞であるが、再帰代名詞がついた再帰動詞は、必ずしも動詞が意味する行為などの受益者が主語自身である(本来の再帰)といった単純なものばかりではない。再帰代名詞がつくことに伴う動詞の意味の変化としては、1) 本来の再帰、2) 自動詞化、3) 受け身や非人称的表現、4) 相互的用法、5) その他(熟語的用法など)を考えるとよく、個々の文脈に応じて解釈することが出来る。

1) 本来の再帰

この用法の時は *a si mesmo(-a,-os,-as)*「自分自身に」をつけても意味が通る。

João cortou-se com uma faca (a si mesmo). ジョアンはナイフで怪我した

Perguntava-se a si mesma Teresa se aquela horrorosa situação seria um sonho.

テレーザはその恐ろしい状況が夢でないだろうかと自問していた

(cf. *aquela* は話し手からの心理的距離を表現するので日本語の訳「その」とずれる)

2) 自動詞化

Noris infiltra-se em uma organização criminosa para combatê-la.

ノリスはそれを壊滅させるためある犯罪組織に潜入する

Família de playboy milionário decide que ele deve se casar. Ele se apaixona, mas a moça não preenche os requisitos da família. 億万長者のプレイボーイの一家が彼は結婚すべきだと決める。彼に恋人が出来るが、娘は一家の要求する基準を満たさない

Cada vez me sinto menos capaz de prosseguir esta narrativa.

ますます、私はこの話しを続けることが出来なくなっているように感じる

Veste-se devagar, dirige-se depois, por outro caminho, para o café, a meia encosta, onde come duas sandes de presunto e um kiwi inteiro. ゆっくりと服を着、それから別の道を通って、坂の中ほどにあるカフェに行く、そこで生ハムのサンド二つとキューイフルーツを丸ごと食べる

3) 受け身

動詞が表す動作そのものに表現の中心がある。通常、動詞は目的語に一致する。

Fez-se novo silêncio. 再び沈黙があった

Aqui vendem-se melões. メロンあります(<ここではメロンが売られます)

Alugam-se quartos. 部屋貸します(<部屋が貸されます)

Há bem uns três dias que se fala muito na mala encontrada com um corpo mutilado e queimado, sem cabeça. ここ3日ほど、損傷を受け、焼かれた首なし死体の入ったトランクが発見されたことについての話しでもちきりだ

4) 相互的用法

主語が複数で「お互いに～する」という意味になるときで, uns aos outros 「お互いに」という語句を補っても意味が通る.

- Despedimo-nos aqui. Prefiro não conhecer a tua amiga.

ここでお別れしましょう. 君の友達とは知り合いにならないほうがよいので

Elas odeiam-se uma à outra. 彼女たちはお互いに憎みあっている

Honramo-nos uns aos outros. お互いに名誉を称えあいましょう

(cf. Honramo-nos a nós mesmos. 自分自身の名誉を称えましょう)

5) その他

O poeta Antero de Quental suicidou-se em 1891.

詩人のアンテロ・デ・ケンタルは1891年に自殺した.

自動詞に再帰代名詞がつくと完了の意味が加わることがある.

Vou-me embora. 私はおいとまします Ele se sentou. 彼は座った

また、動詞によっては再帰代名詞が省略されたと考えられる用例もある.

Eu chamo José. 私はジョゼといいます (=Eu me chamo José.)

Ele mudou para São Paulo. 彼はサンパウロに引っ越しました(=Ele se mudou para São Paulo.)

Eu formei em Medicina. 私は医学部を出ました(=Eu me formei em Medicina.)

⑦ 副詞の作り方 -mente

形容詞の**女性単数形**に mente を接尾すると「...のように」という副詞になる. 副詞は, 文全体や, 形容詞や副詞を修飾する.

antigo → antiga → antigamente normal → normalmente

(portuguesmente「ポルトガル風の」は例外です)

Normalmente eu pensava em ser famoso jogando futebol.

普通, 私はサッカーをして有名になることを考えていた

Antigamente tu gostavas de comer arroz, não? 昔, 君は米を食べるのが好きだったよね?

As taxas de juro na Europa estiveram em níveis historicamente baixos desde 2001.

ヨーロッパにおける金利は2001年以来, 史上最低の水準に留まっていた

mente のついた副詞が続くとき, mente は最後の形容詞に接辞されるのが普通である.

O homem passou a agitar desesperada e inutilmente os braços.

その男は, 絶望した様子で腕を振り回し始めたが無駄だった.

⑥ 動詞 dar の用法

dar は「...を～に与える」という意味の動詞であるが、他に物や事が主語になって「...は可能である」、dar para...「～することが可能である」といった意味にも用いられる。

Nos meus anos deram-me um computador. 私の誕生日にみんなは私にコンピューターをくれました

A Ana já te deu o livro que tu lhe emprestaste?

アナは君が彼女に貸した本をもう君に返してくれましたか?

No fim do espetáculo, os actores dão rebuçados às crianças.

そのショーの最後に俳優たちは飴を子供たちに配る

Com cinquenta reais dá para comer quatro dias, dormindo na barraca.

50リアルあればバラックで寝ながら4日は食っていける

Não dá para tirar o detergente? Quanto é o detergente?

洗剤を取ることは出来ませんか? 洗剤はいくらですか?

dar para...には「...を向いている」という意味もあります。dar com...は「...に出くわす、発見する」の意味です。

A janela do meu quarto dá para o jardim. 私の部屋の窓は庭に向かっている

Depois de muito procurar, dei com o livro na estante. 大いに探したあと、その本を本棚に見つけた

⑦ 関係代名詞(1)

変 化 語				不変化語
男 性		女 性		
単 数	複 数	単 数	複 数	
o qual	os quais	a qual	as quais	que
cujo	cujos	cuja	cujas	quem
quanto	quantos	quanta	quantas	onde

左がポルトガル語の関係代名詞と関係副詞(onde)である。

ここでは que と quem について学ぶ。

que は、最も基本的な関係代名詞で、人やものを先行詞にすることが出来、関係文中で主語や目的語などになる。

As artistas **que** ontem actuaram não são muito conhecidas.

昨日出演したアーティストたちはそれほど知られていない

Falei com o professor **que** ensina matemática ao meu filho.

息子に数学を教えているその先生と話しました

Os programas **que** eu vi esta semana foram bons. 今週私が見た番組はよかったです

この関係詞は、次のような非制限用法(記述用法)でも用いることが出来る。

O filme, **que** vimos ontem, ganhou o Óscar. その映画を昨日私たちは見たが、オスカーを取った

A Ana, **que** esteve hospitalizada, voltou para casa. アナは、入院していたが、家に戻った

関係代名詞は、前置を伴って用いられることがある。その場合、前置詞は、必ず、関係代名詞の前に置かれる。この場合、que は先行詞にもものを受ける。人が先行詞になっているときは、後に述べるように quem が用いられる。

Este computador, **com que** trabalho há tantos anos, é IBM compatível.

このコンピューターは、何年もそれで私が仕事をしているものですが、IBMの互換機です
Não imagina os trabalhos **por que** passei para conseguir o visto de entrada.

入国ビザを得るために、私が経験した苦労は想像出来ないでしょう。

quemを用いることが出来るのは、先行詞が人で、関係代名詞に前置詞を必要とする場合と、後の例にあるように「～する人」といった意味で、**quem**が先行詞を含んで用いられている場合である。**quem**は、通常の関係代名詞としては用いられない。

Este é o rapaz **com quem** vivo. これが、私が一緒に暮らしている若者です

O amigo da Teresa, **com quem** fui ao Alentejo, é muito simpático.

テレーザの友人は、一緒にアレンテージョに行ったけれども、とてもいい人です

次のような使い方はできない。

×Falei com o professor **quem** ensina matemática ao meu filho.

×O amigo da Teresa, **com que** fui ao Alentejo, é muito simpático.

quem が先行詞を含む場合とは次のような例である。

Quem rouba um pão é ladrão, パン一切れを盗む者は泥棒だが、

Quem rouba um milhão é barão! 100 万盗む者は大物だ!

Convida **quem** quiseres! 君が招待したい人を招待しなさい

練習問題IX

次の文を読んで訳しなさい。

- ① O Abílio lava a loiça e tu limpa-la.
- ② Tenho de fingir que o encontro por acaso.
- ③ Zé tenta conversar com Diego, que o expulsa.
- ④ O John não é português mas os amigos dele são-no.
- ⑤ Eles nem sequer se passeiam à noite com as namoradas na rua.
- ⑥ A reunião durou seis horas antes de se chegar a um compromisso.
- ⑦ Durante muitos e muitos anos foi o seu silêncio que falou por si.
- ⑧ Por isso escrevia as canções, para me libertar do que nelas contava.
- ⑨ Eu sou um compositor, mas com este disco senti-me mais no papel de cantor.
- ⑩ Lembro-me de imediato de um dia em que adormeci na praia e acordei rodeado de gaivotas.
- ⑪ Já em casa, de madrugada, só com o marido, Bel agradece-lhe a generosidade.
- ⑫ - Gosto de flores, ainda não to disse. E gosto doidamente de flores lilases.
- ⑬ O céu está deslumbrantemente azul.
- ⑭ Em 99 por cento das vezes, a pessoa tem tempo de se aperceber do perigo e este modelo é inútil.

10. 接続法現在と命令形, 関係代名詞(2)

Talvez ele seja agente sanitário. Ela chega sempre depois das onze e vai direto para o quarto. Acho que ela estuda de noite, chega sempre com uns livros. Também, talvez ela não venda dez coisas por dia e talvez as coisas que ela venda não sejam tão caras como esse chambre. Calcinha, camiseta, essas coisas devem ser bem mais baratas. Chegue amanhã mais cedo e leia o manual. Cadê o dinheiro? Cê tem que dar o bilhete pra alguém. Assim, uma pessoa que saiba lidar com grana, que seja elegante... Mas tem que ser alguém em quem você confia.

① 接続法現在の変化

i) 規則変化

	falar	vender	abrir
1人称単数	fale	venda	abra
2人称単数	fales	vendas	abras
3人称単数	fale	venda	abra
1人称複数	falemos	vendamos	abramos
2人称複数	faleis	vendais	abrais
3人称複数	falem	vendam	abram

接続法現在の規則変化は -er, -ir 動詞では同じである。

ii) 直説法現在の1人称単数から派生するもの

	fazer	ter	pôr	dormir
	(faço)	(tenho)	(ponho)	(durmo)
1人称単数	faça	tenha	ponha	durma
2人称単数	faças	tenhas	ponhas	durmas
3人称単数	faça	tenha	ponha	durma
1人称複数	façamos	tenhamos	ponhamos	durmamos
2人称複数	façais	tenhamais	ponhais	durmais
3人称複数	façam	tenham	ponham	durmam

不規則動詞では、直説法現在の1人称単数形から、語尾 -o を取り、これを -a, -as, -a, -amos, -ais, -am に置き換えて活用させる。

iii) 完全な不規則: estar, ser, querer, saber, haver, dar, ir の7つの動詞

	ser	estar	dar	ir	querer	saber	haver
1人称単数	seja	esteja	dê	vá	queira	saiba	haja
2人称単数	sejas	estejas	dês	vás	queiras	saibas	hajas
3人称単数	seja	esteja	dê	vá	queira	saiba	haja
1人称複数	sejamos	estejamos	demos	vamos	queiramos	saibamos	hajamos
2人称複数	sejais	estejais	deis	vades	queirais	saibais	hajais
3人称複数	sejam	estejam	dêem	vão	queiram	saibam	hajam

② 接続法の用法

法には、話し手が表現内容を「事実として客観的に提示する」ときに用いる動詞の変化形である直説法と、「動詞が表す内容が事実であることを疑ったり、あるいは、まだ実際に起きていない可能性の面を強調したり、譲歩節などのような主観的判断を交えて表現される」場合に用いられる接続法がある。接続法では仮想的な内容が表され、事実かどうかの

判断は保留されている。

接続法は、従属文で用いられることが多い。

(1) 動詞や名詞、形容詞に支配される**名詞的従属文**における接続法

話し手が、従属文中の内容を事実として提示する直説法と事実とは判断していない接続法の違いに注意すること。

Acho que as pessoas voltam para lá. 人々は向こうに戻っていくと思う(直説法)

Duvido que as pessoas voltem para lá. 人々は向こうに戻っていくとは思わない(接続法)

疑い、意図、主観的判断、命令、義務、許可、禁止などを意味するaconselhar, compreender, duvidar, determinar, proibir, esperar, lamentar, pedir, querer, solicitar, temer, mandar, deixar, fazer, apreciar, criticar, detestar...などの動詞が支配する従属文中では動詞は接続法の形で用いられる。

A Maria espera que o Rui chegue a horas. マリアはレイが時間どおりに着く事を期待している

As crianças querem que o pai conte uma história. 子供たちは父がお話しをしてくれる事を望んでいる

Lamento que se esconda neste recanto, D.Luís! こんなところに隠れているなんて残念です、レイザさん

Proíbo-te que saías sem minha autorização. 私の許可なく君が外出する事を禁止する

それに対し、**admitir, imaginar, pensar, supor, acreditar, assumir, calcular, certificar, desconfiar, julgar, presumir, prever, suspeitar**の動詞は、意味に応じて、接続法とも直説法とも用いられるが、saber, ignorar, crer, acharは接続法とは用いられない。

Imagino que gostas de ir ao cinema. / Imagino que gostes de ir ao cinema.

君は映画に行くのが好きだろ／好きだよ

Ele calcula que os amigos estão em casa. / Ele calcula que os amigos estejam em casa.

彼は、その友人たちが家にいるとあたりをつける／家にいるのではないかと...

A Ana sabe que o João está doente. アナはジョアンが病気である事を知っている

Creio que o filme é muito chato. その映画はとてもつまらないものにちがいない

同様に、形容詞や名詞によって支配される従属文でも同じようなことが起きる。疑い、意図、必要、可能性、義務、許可などを表すduvidoso, possível, desejável, necessário, obrigatório, permitido, improvável, incerto, impensável, inacreditável, inverosímil, questionável, preciso, conveniente, oportunoなどやcrível, verdadeiro, falso, agradável, comovedor, contagiante, estranho, perigoso, trágico, benéfico, fácil, simples, urgente, útilや、名詞のdúvida, desejo, necessidade, possibilidade, obrigação, permissão, afronta, alegria, encanto, horror, perigo, tristezaなどは接続法を取るが、claro, evidente, óbvioなどは直説法を取る。

É duvidoso que a Maria esteja em casa. マリアが家にいるというのは疑わしい

É uma obrigação que se conheçam os termos do acordo.

協定の条項について知っていることは義務である

É claro que ele foi à festa. / Está claro que ele foi à festa. / Fica claro que ele foi à festa.

彼がパーティーに行ったことは言うまでもない

名詞＋de queに導かれる従属文では, dúvida, desejo, medoなどは接続法を, certeza, conhecimento, crença, descoberta, promessaなどは直説法, ideia, suspeita, hipóteseは両方の形を取ることが出来る.

O medo de que ela faça uma asneira está sempre presente.

彼女が馬鹿な事をしてかさないかという恐れがいつもある

A certeza de que ela está bem anima-me. 彼女が元気であるという確信が私を奮い立たせる

A suspeita de que ele chegou atrasado irritou-me. / A suspeita de que ele chegasse atrasado irritou-me.

彼が遅れたのではないかという心配が私をいらいらさせた

A hipótese de que a solução do problema está certa anima-me.

/ A hipótese de que a solução do problema esteja certa anima-me.

その問題の解決は確かであるという想定で私は元気付けられた

cf.)主文の動詞が否定されると従属文中の動詞の使用も変わる.

O Rui não acredita que a Maria tenha partido. / O Rui não acredita que a Maria partiu.

ルイはマリアが出発した事を信じない／ルイはマリアが行ってしまったなんて信じようとしな

O Rui não acredita que a Maria parta. / O Rui não acredita que a Maria vai partir.

ルイはマリアが行ってしまうとは思わない／ルイはマリアが行くことを信じようとしな

このような例では接続法の動詞は文の主語の判断を, 直説法の動詞は話し手の判断を表すとみることが出来る.

(2) 関係文中における接続法

直説法の動詞の形が用いられるのは, 先行詞が特定されている場合である.

A Rita procura um livro que tem gravuras de Lisboa.

リタはリスボンの挿絵の入った本を探している. (直説法)

A Rita procura um livro que tenha gravuras de Lisboa.

リタはリスボンの挿絵の入っているような本を探している. (接続法)

Uma viatura colidiu frontalmente com o automóvel que seguia em sentido inverso.

一台の車両が反対方向に進んでいた自動車と正面衝突した. (直説法)

Este piso terá a configuração do convés de um navio, acolhendo cafés, restaurantes e outro tipo de comércio que seja valorizado pelos turistas.

この階は, 船の甲板の形を備える予定であり, カフェやレストラン, その他の旅行者たちに評価されるような商店が入るだろう. (接続法)

(3) 目的, 譲歩, 条件や仮定, 時, 原因などを表す副詞的節における接続法

目的や譲歩などを表す文では接続法が用いられる.

Prometo fazer tudo para que não esqueças mais estes dias.

この数日間の事をおまえが決して忘れる事のないようになんでもする事を約束する
Ele voltou para que todos ficassem contentes. みんなが満足するようにと彼は戻ってきた

Mas, embora os resultados sejam bons, o trabalho não está terminado.

しかし、その結果がよかったとしても、その仕事はまだ終わっていない

Embora não tenha grande experiência da complexidade feminina, pressente, sem pôr em dúvida a sinceridade dela, que Kitty está próxima de ceder.

女性の複雑さに関する大きな経験はなかったが、彼女の誠実さに疑いをはさむことなく、キティーはもうすぐ譲歩するということを感じていた

Não há, que eu saiba, expressão mais suave. 私が知っている限り、より心地よい表現はない

O povo, saiba ou não saiba ler, é incapaz de criticar o que lê ou lhe dizem. (Fernando Pessoa)

民衆は、文字が読めても、読めなくとも、読んだり自分たちに対して言われたりすることを批判する能力はない(フェルナンド・ペソーア)

como se + 接続法未完了「あたかも～のように」はむしろ成句的表現と考えたほうがよい。

Comporta-se como se fosse o rei. まるで王でもあるかのように振舞う

Embora a conheça há pouco tempo, é como se a conhecesse há muito.

少し前に彼女と知り合ったにもかかわらず、昔から彼女を知っているかのようだ

logo que, antes que や理由を表す従属文では両方の場合があり、意味のニュアンスが変わる。

Precisa de se estender logo que chegue a casa. (接続法)

家に着いたらすぐに横になる必要がある

Ele foi para casa logo que começou a chover. (直説法)

雨が降り始めるとすぐに彼は家に帰った

Como não quiseram ouvir-nos, fomo-nos embora. (直説法)

/ Como não quisessem ouvir-nos, fomo-nos embora. (接続法)

彼らには私たちの話を聞く気がなかった(／ような)ので、私たちは引き揚げた

Deitei-me ontem mais cedo, não porque tivesse sono, mas porque precisava de me levantar hoje de madrugada. → 下線部は事実ではない

昨日早く寝た。眠かったからではなく、今日明け方に起きる必要があったからだ

条件節での使用(後述→仮定文)

a) Se a Paula está em casa, então vamos visitá-la. パウラが家にいるから、訪問しよう

b) Se a Paula estiver em casa, vamos visitá-la. パウラが家にいるのなら、訪問しよう

c) Se a Paula estivesse em casa, íamos (/iríamos) visitá-la. パウラが家にいたら、訪問するのに

d) Se a Paula tivesse estado em casa, teríamos (/tínhamos) ido visitá-la.

パウラが家にいたら、訪問していたのに

ただし、必ずしも a) と b) の違いが明確でない場合もある。

(4) 主文における接続法の使用

主文で接続法が用いられるのは、次の節で述べる命令文と祈願文やそれに起源する成句的表現, talvez「おそらく」、oxalá「どうか...しますように」、tomara que「どうか...しますように」などに直接支配される場合である。

Viva Portugal! ポルトガル万歳

Deus seja connosco! どうか神様!

Que o leve o diabo! あいつなんか地獄に落ちろ!

Oxalá nunca te arrependas da tua decisão! どうかあなたが自分の決定を後悔しないように

Talvez eu coma hoje na cantina. 今日はおそらく私はカンティーナで食事するだろう

Talvez possa um dia vir comigo ver uma tourada genuína e vai mudar de opiniões.

おそらくいつか私と本物の闘牛を見て、意見を変えるだろう

Talvez seja por isso que, nestes ermos, julgo sempre que, de um momento para o outro, vai surgir uma pessoa saída do fundo dos tempos.

そのためかもしれないが、こういう人里離れた場所では、一瞬のうちに、時の奥底から出て来たような人が現れるのではないかと私はいつも思うのだ

cf.) talvezの位置に注意

Talvez a Maria nos venha visitar. / A Maria vem talvez visitar-nos.

マリアが私たちを訪問するだろう

③ 命令形

ポルトガル語には伝統的に**命令法**と呼ばれる形式があるが、これは2人称(tu, vós)に対してしか存在せず、**肯定の命令文にのみ用いられる**。それ以外の人称や否定の命令文では対応する**接続法現在**の形が用いられる。従って、接続法現在が不規則の動詞では命令形も不規則になる。

i) 規則動詞の肯定命令

	falar	vender	abrir
2人称単数 (tu)	fala	vende	abre
3人称単数 (você...)	fale	venda	abra
1人称複数 (nós)	falemos	vendamos	abramos
2人称複数 (vós)	falai	vendei	abri
3人称複数 (vocês...)	falem	vendam	abram

(tu, vós に対する) 命令法は対応する直説法現在形から-sをとったものである。

ii) 規則動詞の否定命令

否定の命令文では、「命令法」(2人称)の形式は用いられない。2人称の否定命令では接続法現在の形が用いられる。

	falar	vender	abrir
2人称単数 (tu)	não fales	não vendas	não abras
3人称単数 (você...)	não fale	não venda	não abra
1人称複数 (nós)	não falemos	não vendamos	não abramos
2人称複数 (vós)	não faleis	não vendais	não abrais
3人称複数 (vocês...)	não falem	não vendam	não abram

«Não troces, Marcos, simplesmente não fui capaz de ficar calada.»

マルコス, からかわないで, ただ黙っていることが出来なかったの

«Agora é a minha vez de pedir que não troces...» 今度は私の方が, からかわないでと頼む番だ

cf. troces ← troçar: escarnecer, ridicularizar

Mas Bel, serena e sorridente, diz-lhe que não teime, que a relação deles está definitivamente arquivada. しかし, ベルは, 落ち着いて微笑を浮かべながら, これ以上しつこくしないようにと彼にいった, 彼らの関係は完全に終わっているのだから

iii) 不規則動詞の命令形

	dizer		ser	
	肯定命令	否定命令	肯定命令	否定命令
2人称単数	diz(e)	não digas	sê	não sejas
3人称単数	diga	não diga	seja	não seja
1人称複数	digamos	não digamos	sejamos	não sejamos
2人称複数	dizei	não digais	sede	não sejais
3人称複数	digam	não digam	sejam	não sejam

ser の命令法は不規則である。他に tens → tem, vens → vem のような文字の上での変更を伴うものがある。

Pára com isso, leva esse anjo aí, dez reais, rapaz, paga no fim do mês.

いい加減にしろ, この天使持ってけよ, 10リアルだ, 月末でいいから

Diga uma coisa, rapaz! おい, ちょっと言ってみろよ

Seja homem, Júlio! しっかりしろ, ジュリオ Espera! 待って!

④関係詞

変 化 語				不変化語
男 性		女 性		
単 数	複 数	単 数	複 数	
o qual	os quais	a qual	as quais	que
cujo	cujos	cuja	cujas	quem
quanto	quantos	quanta	quantas	onde

ここではo qual, cujo, quanto, ondeなどについて学びます。

o qual は先行詞の性数に一致した形が用いられる関係代名詞である。先行詞について「そして, それ(ら)は…」といった意味で述べる, 記述的用法(非制限的用法)で主に用いられる。先行詞は人も物も両方可能である。

Entrevistados os candidatos à bolsa, foram escolhidos cinco, **os quais** foram posteriormente chamados para uma nova entrevista.奨学金の候補者の面接が行なわれ、5人が選ばれ、その人々は後に新たな面接のために呼ばれた

Os lucros distribuídos pela empresa no final do ano, **os quais** atingiram taxas de 12 %, deixaram os accionistas espantados.年度末にその企業が分配した利潤は、12%に達し、株主を驚かせた

Curió sentiu estar atravessando perigosamente aquela linha **além da qual** encontravam-se a ingratidão, a deslealdade, a hipocrisia. クリオーは、その向こうには不恩義や不忠、偽善の存在する、あの一線を危険にも越えつつあることを感じていた

関係代名詞に前置詞が先行するとき、短い前置詞では **que** や **quem** が好まれると言われる。例えば、desde, durante, perante, entre, mediante, segundo などの場合は、**o qual** が多く用いられる。

Os professores, **entre os quais** se encontrava a directora, reuniram-se em conselho disciplinar.

教師たちは、その中に(女)校長も含まれていたが、風紀委員会を招集した

ただし **sem quem** は普通用いられない。また、A pessoa **a quem** me dirigi と A pessoa **à qual** me dirigi では、前者のほうが古典的という。前置詞との組合せに関しては、次の例に見られるように、先行詞との距離など他の条件も関係する。

Durante os últimos dois anos foram raptados no Iraque mais de 240 estrangeiros, dos quais pelo menos 39 foram assassinados.

過去二年間にイラクでは240人以上の外国人が誘拐され、そのうち少なくとも39人が殺された

cujo「そして、その」は所有関係代名詞と呼ばれ、関係文のなかでそれが修飾する名詞に一致する。

Este é o amigo **em cuja** companhia passei as férias.

こちらが私が休暇を一緒にすごした友人です

O Presidente austríaco, Heinz Fischer, cujo país assumiu um semestre de presidência rotativa da União Europeia (UE), declarou ontem que não espera este ano grandes avanços.

オーストリアの大統領ハインツ・フィッシャーは、四半期交代の EU 議長の職を引き受けたが、今年は大きな進歩は期待していないと述べた。

onde「そしてその場所で」は、場所の関係副詞である。前置詞と関係代名詞で置き換えられる場合もあるが、固有名詞の時は **onde** しか使えない。

Estive em Salvador **onde** vi algumas duzentas igrejas.

私はサルバドルに行き、そこで二百ほどの教会をみました

Comemos a carne nos pratos **em que** tinha sido servido o peixe.

私たちは魚が出された皿で肉を食べました

quanto は文法書では関係代名詞として扱われるが、実際には「～であるものすべて」という比較的固定した表現以外では用いられない。

Disse (**tudo**) **quanto** sabia. 知っていたことすべてを述べた (**tudo** を取っても意味は同じ)

他に、前に述べた文の一部や内容などを受けて用いられる **o que** がある。

Achou-se mais prudente que eu me safasse pelos fundos do prédio, **o que** fiz tão depressa quanto pude. 建物の奥に私が隠れたほうがよいと判断されたので、そのことを私は可能な限りすばやく行なった

⑤ 天候等の表現

天候などの表現には3人称単数が用いられる。

Chove. 雨がふる Está a chover. 雨が降っている

Choveu. 雨が降った Chovia. 雨が降っていた

O tempo está bom. 天気はよい Faz bom tempo. よい天気だ

他に **nevar**「雪が降る」、**saraivar**「雹が降る」、**ventar**「風が吹く」などの動詞がある。

⑥ **saber** と **conhecer** 「知る」の用法

saber は「～であることを知っている」(内容)、**conhecer** は「(人や、物、場所など)を知っている」(対象)の意味に使われる。また、**saber** は、次に不定詞を直接従え、「～出来る(～する術を心得ている)」の意味で使われることもある。

Sabemos muito bem que ele tem razão. 彼が正しいことは我々はよく知っている

Conheço aquele rapaz: é meu vizinho. あの若者は知っているよ、隣の人だ

Sabe nadar desde miúda. 彼女は小さな頃から泳ぐことが出来る

Sei o que o teu pai significa para ti. 君のお父さんが君にとってどういう意味を持つかわかるよ

Luís não sabe o que quer, por isso muda de opinião tantas vezes.

ルイスは何が欲しいか(という事が)わからないので、何度も意見を変える

O jardineiro conhece muitas espécies de planta. 庭師はたくさんの種類の植物に通じている

José, conheces bem Lisboa? ジョゼ、リスボンをよく知ってる?

Vamos jantar àquele restaurante porque eu conheço a sua cozinha.

あのレストランで夕食を取ろう、その料理をよく知ってるから

人が目的語のとき **conhecer** は「知り合いである」という意味にもなり、「知り合った」という意味で過去形で用いられることがある。

Eles conheceram-se há cinco anos. 彼らは5年前に知り合った
「味がする」の意味の **saber** の用法もある。

O arroz está-me a saber muito mal. 私にはこの米はとてもまずい味がする

練習問題X

読んで訳しなさい。

- ① Mas vamos aplicar as mesmas regras que foram aplicadas nas outras auto-estradas.
- ② O bom senso leva a pensar que o processo é exactamente ao contrário.
- ③ Não receia que "Inferno" seja interpretado apenas como um filme de acção?
- ④ É que a passagem do tempo é um dado fundamental da encenação de Ronconi.
- ⑤ O lançamento do míssil é uma questão de soberania e de independência nacional.
- ⑥ Se vai viajar para o estrangeiro lembre-se que os azares não acontecem só aos outros.
- ⑦ A solidão, aos cinquenta anos, é em grande parte da nossa responsabilidade, não nos podemos queixar.
- ⑧ Acho que hoje em dia todos os nacionalismos são excrescências redundantes de um passado morto.
- ⑨ Com a proximidade do Natal, os comerciantes contam com várias opções para enfeitar tanto a fachada como o interior da loja.
- ⑩ Não sei bem, aliás, o que me fazia hesitar ou qual a hesitação.
- ⑪ O uso de uma expressão é semanticamente desviante quando não está de acordo com o significado habitual dessa expressão.
- ⑫ A casa que ambos habitavam foi selada e as suas contas bancárias congeladas.
- ⑬ Para os estudos de impacto ambiental têm que ser apresentadas várias alternativas.
- ⑭ O frio obrigava a bater os pés e a dar pequenos passos em círculo para aquecer um pouco.
- ⑮ O autarca social-democrata interroga-se se a maioria camarária já conhecia este traçado.
- ⑯ Num francês irrepreensível, este antropólogo a viver em Itália diz que vai ficar uma semana.
- ⑰ Afinal é talvez o único sucesso financeiro e de gestão dos investimentos em transportes públicos em Portugal.

11. 現在完了と受動態、直説法過去完了(大過去)

No outro lado do Atlântico, o Rio de Janeiro tem sido palco de confrontos nos últimos dias, mas a noite de fim de ano acabou por não ser particularmente violenta – mais de um milhão de pessoas assistiram ao fogo-de-artifício nas areias de Copacabana.

O responsável falou de uma inadequação “crônica” de mão-de-obra não especializada, que tem vindo a perder postos de trabalho “e não está preparada para um novo desafio”, a somar a uma tendência “preocupante” que é a da “fuga de quadros”.

A tarefa foi conseguida, mas à custa da vida de um milhão de escravos.

Todos foram hospitalizados com ferimentos graves.

João Pinto negou ontem o que antes tinha dito à polícia e reconheceu ter recebido os 3,2 milhões de euros de comissão da sua contratação pelo Sporting, que a PJ acreditava terem ficado na posse de José Veiga.

① 現在完了(直説法複合完了過去)の変化と用法

	falar	vender	dormir
1人称単数	tenho falado	tenho vendido	tenho dormido
2人称単数	tens falado	tens vendido	tens dormido
3人称単数	tem falado	tem vendido	tem dormido
1人称複数	temos falado	temos vendido	temos dormido
2人称複数	tendes falado	tendes vendido	tendes dormido
3人称複数	têm falado	têm vendido	têm dormido

ter の現在形に過去分詞を加える。完了形の過去分詞は無変化(男性単数形)である。

規則的な過去分詞は不定詞の語尾 -ar, -er, -ir をそれぞれ -ado, -ido, -ido に置き換える。

ポルトガル語の現在完了は、過去のある時点で開始され現在までずっと続いていたり、繰り返し起こった出来事や内容を表す。(「～(以来)ずっと～してきた」)

Tenho escrito bastantes poemas. 私はたくさんの詩を書いてきた

Ele tem trabalhado muito durante estes três meses. この3ヶ月、彼はとても働いています

この形では、ヨーロッパやブラジルの文法では直説法複合(完了)過去と呼ばれ、アメリカの一部の文法では現在完了と呼ばれている。直説法(完了)過去に置き換えることが出来るが、その場合、「現在まで続いている」という強調的な意味は失われる。いわゆる複合過去としての発達はポルトガル語では見られない。

② 過去分詞と現在分詞

i) 過去分詞

次の8つの動詞並びにその複合形では過去分詞は不規則である。

abrir 開く→ aberto cobrir 覆う→ coberto dizer 言う→ dito escrever 書く→ escrito
fazer する→ feito pôr 置く→ posto ver 見える→ visto vir 来る→ vindo

動詞によっては規則形と不規則形の2つの過去分詞を持つものがある。一般に、規則形は **ter** や **haver** を助動詞にした完了形に、不規則な形は受動態や形容詞的に用いられる傾向がある。ただし、実際には不規則な過去分詞か、意味的に類似した、あるいは語源的に関連する形容詞なのか判断しがたい場合も少なくない。

aceitar 受け入れる→ aceitado, aceite	afligir 苦しめる→ afligido, aflito
elegir 選ぶ→ elegido, eleito	entregar 渡す→ entregado, entregue
fixar 固定する→ fixado, fixo	frigir 炒める→ frigido, frito
ganhar 得る→ ganhado, ganho	gastar 浪費する→ gastado, gasto
imprimir 印刷する→ imprimido, impresso	libertar 開放する→ libertado, liberto
matar 殺す→ matado, morto	morrer 死ぬ→ morrido, morto
prender 捕まえる→ prendido, preso	romper 破る→ rompido, roto
surpreender 驚かす→ surpreendido, surpreso	tingir 染める→ tingido, tinto...

過去分詞は、ter や haver を助動詞にした完了形(不変化)や ser を助動詞にする受動態(主語に性数一致)、分詞構文や形容詞として用いられます。

Ele tem trabalhado muito durante estes três meses. この3ヶ月、彼はとても働いています

A casa foi mobilada pela minha mãe. その家は私の母によって内装されました

Embaraçado, não consegui chegar à porta. 混乱した私は戸までたどり着けませんでした

過去分詞は形容詞に準じ性数変化します。完了形に用いられる過去分詞は現代語では変化しません。他動詞の過去分詞は「～された」という意味を持ちます。

Com a cabeça levantada, olhava o céu. 頭を挙げて(＝顔を挙げて)、彼は空を見ていた

Achada a solução do problema, não mais torturou a cabeça. その問題の解決が見出されて、彼はこれ以上頭を悩ませなかった(独立分詞構文)

Passado o minuto decisivo, sobreveio demorado ataque de soluços. 決定的な瞬間が過ぎて、その後に長い鳴咽の発作が続いた

Acostumadas a acordar tarde, nada sabiam da vida citadina naquela hora madrugadora. 遅く起きることに慣れていた彼女たちは、この明け方の時間帯の街の生活については何も知らなかった

Ameaçados de irem para a cidade a pé, os tiras terminam por requisitar um caminhão vazio, de volta do aeroporto. 街まで歩いて行かなければいけないような状況に立たされ、サツの連中は空港からもどってくる空のトラックを徴用した

ii) 現在分詞

ポルトガル語の現在分詞は、いわゆるジェルンディウム(「動名詞」)で変化しない。不規則はなく、不定詞の語尾 -ar, -er, -ir をそれぞれ -ando, -endo, -indo に置き換える。(ただし pôr では pondo) ブラジルのポルトガル語では、estar+現在分詞の形は「～しているところである」という進行形になる。他に、分詞構文として用いられ、Em + 現在分詞「～するとすぐに」、ir (vir) + 現在分詞「徐々に～していく(来る)」といった表現がある。また、現在分詞には ter や haver を助動詞にした完了分詞があり、よく用いられる。

Ele está preparando o jantar. 彼は夕食の準備をしています

(ポルトガルのポルトガル語: Ele está a preparar o jantar.)

A produção do vinho tinto vai aumentando cada ano. 赤ワインの生産は年々増大してきています

Tocando piano no teste, Ricardo se lembrava do pai.

オーディションでピアノを弾きながら、リカルドは父のことを思いだしていた

(= Enquanto tocava piano no teste, Ricardo...)

Tendo feito o presente, avançando o braço ele segurou a mulata pelo pulso.

プレゼントを渡して、それから腕を伸ばし、彼はその混血女の手首をつかんだ

Em comendo, podes ir brincar. 食べたらすぐに遊びに行っていよいよ
Em acabando o trabalho, vou ter contigo. 仕事が終わったら、すぐに君に会いに行くよ
Em começando as férias, vamos logo para Portugal.
休暇が始まったら、我々はすぐにポルトガルに行く

③ 受動態

ser に過去分詞を加えた形が受動態である。行為者を前置詞 **por** によって示すことが出来る。この過去分詞は文の主語に性数一致する。

A casa foi mobilada pela minha mãe. その家は私の母によって内装されました
(対応する能動態: A minha mãe mobilou a casa. 私の母はその家を内装しました)

Os livros foram escritos pelo meu pai. それらの本は私の父によって書かれました
(対応する能動態: O meu pai escreveu os livros. 私の父はそれらの本を書きました)

O político tem sido muito criticado, mesmo pelos seus partidários. その政治家は自分の党派の人々によってすら批判されてきている

(対応する能動態: Mesmo os seus partidários têm criticado muito o político. 彼の党派の人々ですらその政治家を批判して来た)

acompanhar, cercar, seguir...などの動詞では行為者を **de** で示すことも出来る。この場合、いわゆる「他動性」は低くなる。

Sempre alegre e prestável, ela era de todos estimada.

いつも陽気で人の役に立つ彼女はみんなから大事にされている

(Sempre alegre e prestável, ela era por todos estimada.という言い方も可能)

助動詞が **ser** 以外の動詞で示されることがあり、この場合、状態や状態変化が強調され、厳密な意味での「行為の受動態」とは言えない。

Ele esteve preso dois anos. 彼は2年間捕まっていた

Ele foi preso ontem. 彼は昨日逮捕された

Após o terramoto de 1755, parte de Lisboa ficou destruída.

1755年の地震の後、リスボンの一部は崩壊した

Parte de Lisboa foi destruída pelo terramoto de 1755.

リスボンの一部は1755年の地震によって破壊された

Com a cheia, os campos ficaram inundados. 洪水で野原は水浸しだ

Os campos foram inundados pela cheia. 野原は洪水によって水浸しになった

Os campos estão inundados. 野原は水浸しだ

④ 直説法過去完了(大過去)

過去のある時点より前に起こった事柄を表現する時に用いられる時制。遠い過去の内容を非限定的に示すときにも用いられる。 **ter** または **haver** の直説法半過去に過去分詞(無変化)を加えた複合過去完了形と単純過去完了形の2つがある。話し言葉では複合過去完了形のみが用いられ、単純過去完了形は書き言葉に限定される形式である。両者に過去完了としての意味の使い分けはないが、単純過去完了形は、現代語では少ないものの、後で述べる直説法過去未来形(条件法)や接続法未完了過去形の代用形として用いられることがある。また、複合形で **haver** を助動詞として用いるのは書き言葉に多い。

falar の複合過去完了形

1人称単数	tinha falado	havia falado
2人称単数	tinhas falado	havia falado
3人称単数	tinha falado	havia falado
1人称複数	tínhamos falado	havíamos falado
2人称複数	tínheis falado	havíeis falado
3人称複数	tinham falado	havam falado

単純過去完了形

	falar	vender	dormir	ter
1人称単数	falara	vendera	dormira	tivera
2人称単数	falaras	venderas	dormiras	tiveras
3人称単数	falara	vendera	dormira	tivera
1人称複数	faláramos	vendêramos	dormíramos	tivêramos
2人称複数	faláreis	vendêreis	dormíreis	tivêreis
3人称複数	falaram	venderam	dormiram	tiveram

単純形は、直説法完了過去の3人称複数形から **-ram** を取り、これに **-ra, -ras, -ra, -ramos, -reis, -ram** をつけ、特に1人称複数および2人称複数形には語幹末の母音にアクセント記号を付ける。(第1変化 á, 第2変化 ê, 第3変化 í, 不規則動詞 é, ô)

Quando me levantei da cama, ela já tinha saído.

私がベッドから起きた時、彼女はすでに出かけてしまっていた

Ela afirmou que o romance só tinha durado quinze dias.

彼女は、その恋愛は2週間しか続かなかったと述べた

A borboleta tinha entretanto saído pela janela fora.

その蝶はいつのまにか窓から外に出てしまっていた

Mimosa por essa altura lisboetara-se. ミモザは、その頃にはリスボンに慣れてしまっていた

Mais tarde, sempre por intermédio da enfermeira, soube que a rapariga decidira ficar no hospital.

ずっと後に、常に看護婦を介して、私はその娘が病院に留まることに決めたことを知った

練習問題XI

読んで訳しなさい

- ① Em vendo que é tarde, não esperes mais por ele!
- ③ O Plano Económico de Emergência foi aprovado, mas nunca levado à prática.
- ④ Passei-lhe os dedos pelos cabelos. Ela reteve-mos, aceitando a carícia com docilidade.
- ⑤ Foi nessa época que entrou para o serviço uma rapariguinha insignificante chamada Lúcia. Tinha o lábio inferior grosso e lamuriento, que lhe dava um ar de pasmo perpétuo.
- ⑥ São estes pequenos nada que fazem do casamento à portuguesa o melhor do mundo...
- ⑦ O curioso é que, quando pensava em razões concretas para acabar com a vida, não as encontrava.
- ⑧ Antes era um assunto que era muito importante para mim, mas agora já não quero saber.
- ⑨ - Comprei-a num antiquário, já há uns meses. Se gostas dela...
- Nem pensar. Sei que há quem se aproveita da generosidade do tio, a Angé, por exemplo, mas eu recuso-me...

12. 未来形と過去未来形

① 未来形の変化と用法

未来形は不定詞に *-ei, -ás, -á, -emos, -eis, -ão* の語尾を加えて作る。例外は *dizer, fazer, trazer* の3つだけで、これらの動詞では不定詞から *-ze-* を除いた *dir-, far-, trar-* に変化語尾をつける。

	falar	dizer
1人称単数	falarei	direi
2人称単数	falarás	dirás
3人称単数	falará	dirá
1人称複数	falaremos	diremos
2人称複数	falareis	direis
3人称複数	falarão	dirão

未来形に対して、人称代名詞の弱形 (*me, te, lhe, nos, o, a...*) や再帰代名詞が後置されると不定詞にあたる部分と語尾の間に挿入される。その場合、弱代名詞には前述のような語形変化 (*o, os, a, as → lo, los, la, las*) を伴うものがある。

lavar-me-ei lavar-se-á amá-los-emos levantá-lo-ei

(cf. *não me lavarei, não se lavará, não os amaremos, não o levantarei*)

「...であろう」というような未来の漠然とした事柄や、現在や未来の内容に対する推量の意味で用いられる。現代語では、比較的近い確実な未来の表現には現在形や *ir + 不定詞* を用いるのが普通なので、未来形は推量の意味で用いられることのほうが多い。

Não será, talvez, o mais típico de Hitchcock.

おそらく、ヒッチコックにもっとも典型的なものではないだろう

Será o evento inaugural de uma série de acontecimentos. 一連の出来事の始まりなのでだろう

Será essa uma forma de garantir que o processo, que até ao momento correu tão bem, vai chegar a bom porto. これが、現在まではうまくいってきたプロセスがうまく終る事を保障する方法だろう

A polícia será a única responsável pela manutenção da lei e da ordem.

警察は法と秩序の維持に唯一責任あるだろう

Estes elementos deverão chegar ao território nos próximos dias.

これらの要員は数日中に領域に到着するだろう

広告や告知に類する文体では、確実な未来の出来事を表現するのに未来形が用いられることがあります

Esta semana estará em Évora, Olhão e Lagos. 今週はエボラとオリャン、ラーゴスで行なわれます

② 過去未来形(条件法)の変化と用法

過去未来形は不定詞に *-ia, -ias, -ia, -íamos, -íeis, -iam* の語尾を加えて作る。例外は未来形同様 *dizer, fazer, trazer* の3つで、これらの動詞では不定詞から *-ze-* を除いた *dir-, far-, trar-* に変化語尾をつける。

	falar	dizer
1人称単数	falaria	diria
2人称単数	falarias	dirias
3人称単数	falaria	diria
1人称複数	falaríamos	diríamos
2人称複数	falaríeis	diríeis
3人称複数	falariam	diriam

未来形と同じく、動詞に後置される人称代名詞の弱形 (me, te, lhe, nos, o, a...) や再帰代名詞は不定詞にあたる部分と語尾の間に挿入される。前述の弱代名詞の語形変化 (o, os, a, as → lo, los, la, las) も同様である。

lavar-me-ia lavar-se-ia amá-los-íamos levantá-lo-ia

(cf. não me lavaria, não se lavaria, não os amaríamos, não o levantaria)

過去未来形は過去のある時点を起点にして、それから後に起こるとみなされる事柄の表現に用いられる。過去から見た未来形であり、「...するであろうと...」という表現や過去の事柄に対する推量として用いられる。また、「...するであろうに」といった意味で事実と反したり、実現可能性が低い条件のもとで生じる事柄を表現する事がある。このことから過去未来形は条件法とも呼ばれる。一定の条件のもとでの実現可能性なので、命令や願望などを表現するときに、命令形や直説法現在に代えて、この時制を用いるとより丁寧な依頼、控えめな願望の表現になる。ポルトガルのポルトガル語では過去未来形は直説法半過去形に置き換えることが出来る。

Mesmo assim, ele declarou convictamente que faria tudo outra vez.

たとえそうであっても、彼はもう一度最初からやり直すであろうと確信を持って宣言した

Disse que iria falar com o Daniel. ダニエルと話しに行くと彼は言った

No seu íntimo, estaria o desejo de, mais uma vez, se desinstalar, indo para Marrocos anunciar o Evangelho e, eventualmente, ali sofrer o martírio.

彼の内心では、もう一度居を引き払い、モロッコに福音を伝えに行き、ひょっとしたらそこで殉教の憂き目にあいたいという欲望が存在したかもしれない

O Rei apareceu-me num sonho e disse-me que eu deveria fundar uma igreja e espalhar a boa nova.

王が私の夢の中に現れ、私はある教会を建立し福音を広めなければならないと述べた

Perante a situação actual, gostaria de voltar a pintar Timor?

現在の状況を前にして、再びチモールを描きたいと思われませんか？

練習問題 X II 次の文を読んで訳しなさい。

① Sai do quarto discretamente, sentindo-me um malfeitor que se escapa em bicos de pés antes que alguém venha surpreendê-lo.

② Alguns investigadores acreditam que o ADN (património genético) do vírus da varíola permitirá a compreensão de outros vírus mortíferos. (ADN= Ácido Desoxirribonucleico)

③ O aumento de um ponto percentual na taxa de juro corresponderia a uma subida da prestação mensal entre os 2,3 por cento para um empréstimo com um prazo de cinco anos e os 11,3 por cento para um empréstimo com 30 anos.

13. 接続法の他の時制, 疑問詞

① 接続法完了過去

接続法完了過去は複合時制で *ter* の接続法現在に過去分詞(無変化)を加えたものである。*falar* を例にとると次のように変化する。

1人称単数	<i>tenha falado</i>
2人称単数	<i>tenhas falado</i>
3人称単数	<i>tenha falado</i>
1人称複数	<i>tenhamos falado</i>
2人称複数	<i>tenhais falado</i>
3人称複数	<i>tenham falado</i>

主文の動詞が直説法現在, またはそれに準ずる文脈で, 接続法が表現する内容がそれ以前に起きているときには接続法完了形が用いられる。

Não creio que ele tenha conseguido achar respostas para suas dúvidas.

彼が自分の疑問に対する答えを見つけることが出来たとは私は信じていない

É possível que tenha passado por aqui. ここを通ったことがあるのは可能だ

Espero que não a tenha visto depois disso. その後で彼女にあったことがなかったと思う

Será possível que tenhas esquecido os bons momentos que passámos juntos?

君が僕たち2人が過ごした, 楽しかった日々の事を忘れてしまったなんて, そんなことがあるだろうか

② 接続法未完了過去

(規則動詞)

	<i>falar</i>	<i>vender</i>	<i>dormir</i>
	(<i>falaram</i>)	(<i>venderam</i>)	(<i>dormiram</i>)
1人称単数	<i>falasse</i>	<i>vendesse</i>	<i>dormisse</i>
2人称単数	<i>falasses</i>	<i>vendesses</i>	<i>dormisses</i>
3人称単数	<i>falasse</i>	<i>vendesse</i>	<i>dormisse</i>
1人称複数	<i>falássemos</i>	<i>vendêssemos</i>	<i>dormíssemos</i>
2人称複数	<i>falásseis</i>	<i>vendêsseis</i>	<i>dormísseis</i>
3人称複数	<i>falassem</i>	<i>vendessem</i>	<i>dormissem</i>

接続法未完了過去の変化形は直説法完了過去の語幹(ラテン語の完了幹)を基に作られる。直説法完了過去の3人称複数形から *-ram* をとり, *-sse*, *-sses*, *-sse*, *-ssemos*, *-sseis*, *-ssem* をつける。

(不規則動詞)

	<i>ser / ir</i>	<i>ter</i>	<i>fazer</i>
	(<i>foram</i>)	(<i>tiveram</i>)	(<i>fizeram</i>)
1人称単数	<i>fosse</i>	<i>tivesse</i>	<i>fizesse</i>
2人称単数	<i>fosses</i>	<i>tivesses</i>	<i>fizesse</i>
3人称単数	<i>fosse</i>	<i>tivesse</i>	<i>fizesse</i>
1人称複数	<i>fôssemos</i>	<i>tivêssemos</i>	<i>fizêssemos</i>
2人称複数	<i>fôsseis</i>	<i>tivêsseis</i>	<i>fizêsseis</i>
3人称複数	<i>fossem</i>	<i>tivessem</i>	<i>fizessem</i>

1人称複数形と2人称複数形では, 幹末の母音が語末から3番目になるのでアクセント記号を使わなければならない。アクセント記号の使い方は *á*, *í*, *ô* で, 幹末が *e* の場合, 規則動詞では *ê*, 不規則動詞では *é* である。

接続法未完了過去は, 主文の動詞が直説法完了過去や半過去など過去形であるときに接続法が用いられる従属文の中で用いられる。この場合, 接続法が表現する事柄は主文の動詞が表す内容と, 過去という時間の軸の上で同時に位置付けられる。

Era preciso que ele fosse muito parvo para acreditar em tal coisa!

そんな事を信じるためには彼はよほど馬鹿である必要があった

cf. É preciso que ele seja muito parvo para acreditar em tal coisa!

そんな事を信じるためには彼はよほど馬鹿である必要がある

Como era possível que ele estivesse no estrangeiro?

彼が外国にいたなんてことが可能だったのか?

cf. Como é possível que ele esteja no estrangeiro? 彼が外国にいるなんてことが可能なのか?

cf. Como é possível que ele tenha estado no estrangeiro? 彼が外国にいたなんてことが可能なのか?

Talvez ele falasse com o padre ontem. おそらく彼は昨日神父と話しただろう

この場合は, talvez は現在とも過去ともとれるので, 次のように言ってもほぼ意味は変わらない.

Talvez ele tenha falado com o padre ontem.

Ao contrário de alguns preconceitos que possa haver, nunca fui pessoa que se adaptasse a nada.

あり得るいくつかの偏見とは逆に, 私は何にも適応できないような人間ではなかった

Procurei nas redondezas uma cervejaria onde pudesse beber duas canecas seguidas.

2杯のジョッキを続けて飲むことが出来るようなビアホールを近隣に探した

過去未来形には命令や自己の願望などを丁寧に表現するという用法がある. ポルトガルのポルトガル語では, 代用形として直説法半過去が用いられる.

Queria que levasse o meu vestido. 私のドレスを持って行って欲しいのですが

cf. Quero que leve o meu vestido. 私のドレスを持ってお行き!

Queria que compreendesse o problema. その問題を理解して欲しいのですが

cf. Quero que compreenda o problema. その問題をわかってくれよ!

Como se +接続法未完了過去の表現は, 慣用表現で「あたかも...であるかのように」を意味する.

O homem procedia como se fosse ele o dono da casa.

その男は彼がその家の主人であるかのように振舞っていた

③ 接続法過去完了(大過去)

1人称単数	tivesse falado	houvesse falado
2人称単数	tivesses falado	houvesse falado
3人称単数	tivesse falado	houvesse falado
1人称複数	tivéssemos falado	houvéssemos falado
2人称複数	tivésseis falado	houvésseis falado
3人称複数	tivessem falado	houvessem falado

接続法過去完了は複合時制で *ter* または *haver* の接続法未完了過去に過去分詞(無変化)を加える. *falar* を例にとると次のように変化する.

主文の動詞が過去形, またはそれに準ずる文脈で, 接続法が表現する内容がそれ以前に起きているときには接続法過去完了が用いられる.

Como era possível que ele tivesse estado no estrangeiro?

それ以前に彼が外国に行っていたなんてそんなことがあり得たのだろうか

Luísa olhou em roda, como se um raio tivesse atravessado o quarto.

稲妻がその部屋を横切ったかのごとく、ルイザは周りを見渡した

Era impossível que o Ramos lhe houvesse contado a ela.

ラモスが彼女に語っていたというのはあり得なかった

Que importava que uma mulher tivesse desdenhado o que eu lhe oferecera?

私が彼女にプレゼントしたものを軽蔑したからといってだからなんなんだ

④疑問詞

ポルトガル語には次のような疑問詞がある。

que 何, どの quem 誰 qual どの, どちらの quanto どれくらいの onde どこ
quando いつ como どのように por que なぜ (ポルトガルのポルトガル語 porque)

疑問文では疑問詞の後に é que が置かれることがあるが、意味は変わらない。

que

Que se passa? / Que é que se passa? 何が起きているの?

O que se passa? / O que é que se passa? / Passa-se o quê?

que と o que は「何」と言う意味では同じであるが、que は他に疑問形容詞として「どのような～」という使い方も可能である。

Que brinquedo preferem eles? どんなおもちゃが彼らは好きなのですか?

動詞が前置詞を要求するときは、前置詞は疑問詞の前に置かれる。

De que é que eles falam? / De que falam eles? 何について彼らは話しているのですか?

Por que caminho é que ele foi? どの道を通して彼は行きましたか?

quem

Quem chegou? / Quem é que chegou? 誰が着きましたか?

De quem é que falam? / De quem falam eles? 誰について話しているのですか?

Por quem é que ela chorou? 誰のために彼女は泣いているのですか?

qual

Qual é a sua caneta? どれがあなたのペンですか?

Qual dos meninos sabe responder? 子供たちのうち誰が答えられますか?

Quais professores? どの先生ですか?

qual は現代語では普通、直接名詞を修飾しない。最後の文は Quais são professores? の ser 動詞が省略されたものである。qual の場合、このような省略はよく起こる。

quanto

Quantos livros tem você? 君は何冊の本を持っていますか?

Quanto é? いくらですか? (どれだけですか?)

Quantas pessoas é que vêm? 何人の人が来るの?

onde

Onde estão os livros? 本はどこにありますか?

De onde o senhor vem? どこからあなたは来られたのですか?

quando

Quando é que a encomenda chegou? いつ小包は着きましたか?

como

Como é que ele pôde fazer uma coisa assim? どのように彼はこんなことが出来たのだろうか?

porque

: Porque (é que) (+動詞)? / Por que (+名詞)(é que)...? — Porque

(cf. Brasil: Por que...? — Porque)

ブラジルの規範的なポルトガル語では、「なぜ」と理由を聞くときは *Por que* のように離して書くことになっている。ポルトガル語ではそのような決まりはなく、「なぜ」も「なぜなら」も同じである。

Porque sucedem coisas destas? なぜそんなことが続くのだろうか?

Porque é que chegaram tão tarde? どうして彼らはそんなに遅くつuitaのか?

Por que razão devemos cumprir cegamente todas as normas ditadas por Bruxelas?

どのような理由で、我々はブリュッセルによって言われたすべての決まりを盲目的に実行しなければいけないのか?

最後の例文は *que razão*「どのような理由」+ *por*「によって」という構造である。

porque が文末に来るとアクセントがかかり *porquê* になる。

Mas *porquê*? しかし、どうして?

練習問題 X III 次の文を読んで訳しなさい。

① Talvez me estivesse a tornar egoísta.

② Acendi novo cigarro para que as ideias se arrumassem.

③ Há quem venha aqui todos os dias de manhã ou ao fim da tarde para pescar.

④ Há um local donde se consegue avistar o mar, para o qual nos encaminhámos

⑤ A Henriqueta entrou resmungando que se esquecera do detergente e pediu-me que fosse à drogaria comprá-lo.

⑥ Até agora, o dono do automóvel tinha de levá-lo a um centro de inspecção de veículos e pagar o preço de uma inspecção.

⑦ Mas estou plenamente convencido que isso não vai acontecer.

⑧ Desconfiei que ela tinha uma perna mais curta do que a outra, embora soubesse fazer-nos crer que não era assim.

⑨ De repente, cai um breve aguaceiro, contra o qual Bel não se precatou.

⑩ Spínola percebeu que não havia saída possível, a alternativa era a continuação da guerra e isso a população não aceitaria nunca.

14. 接続法未来と仮定表現, 不定形容詞

① 接続法未来

	falar	vender	dormir	ter
	(falaram)	(venderam)	(dormiram)	(tiveram)
1人称単数	falar	vender	dormir	tiver
2人称単数	falares	venderes	dormires	tiveres
3人称単数	falar	vender	dormir	tiver
1人称複数	falamos	vendermos	dormirmos	tivermos
2人称複数	falardes	venderdes	dormirdes	tiverdes
3人称複数	falarem	venderem	dormirem	tiverem

直説法完了過去の3人称複数形から -ram を取り, これに -r, -res, -r, -rmos, -rdes, -rem という変化語尾を付ける. 規則動詞では人称不定詞と同じ形になるが, 不規則動詞では語幹が別の形になる.

接続法未来形は仮定表現の条件「～したら, ～したときに」の表現に広く用いられる.

Quando passar por Caxias, vou visitar a Ana. カシアスを通るときに, 私はアナを訪問します

Se o tempo estiver bom amanhã, vamos à praia. もし明日天気がよかったならば, 海水浴に行きましょう

A fábrica só compra as peças se estas chegarem até terça-feira.

火曜日までに着く部品についてのみ工場は買い取ります

Se as taxas de juro subirem, as famílias com empréstimos de prazos mais longos serão as mais afectadas. 金利が上がったなら, より長期の貸付を受けている世帯がより影響されるだろう

Não há lei nenhuma que possa obrigar um cientista a revelar os documentos das suas pesquisas, enquanto não estiverem concluídas.

研究が終結していない限りにおいて, 科学者にその研究の資料を公開する事を強制できるようないかなる法律も存在しない

Mas, se vocês esperarem mais uns dez minutos, podem ver uma coisa que nunca viram. もし, あと10分ほど待てば, 今まで君たちが決して見た事のないようなものを見ることが出来るよ

接続法未来形は, 名詞句を修飾する関係文中や **logo que** 「～するとすぐに」のような接続句の中でも用いられる. この場合は, 接続法現在形に置き換えることも出来る.

Fico grata aos eventuais amigos que me ajudarem. 助けてくれる友人なら誰にでも感謝するわ

Por favor atenda-nos logo que puder. どうぞ, 手が開いたらすぐに私たちのアテンドをして下さい

Façam como puderem. 君たちが可能な範囲でやりなさい

② 仮定表現

i) 仮定表現(1) 「...したら...する」

「～したら～する」という現実的な仮定表現では条件をあらわす部分には接続法未来形が, 帰結の部分には直説法の未来形や現在形, **ir** + 不定詞などが用いられる.

Se andarem mais depressa, chegrão a tempo.

, chegam a tempo.

, vão chegar a tempo.

もし彼らがもっと急いで歩いたなら、時間どおりに着く

, 時間どおりに着くだろう

, 時間どおりに着くだろう

帰結の部分に関しては、もっとも現実的な度合いが高いのは、直説法現在形である。

Se o comércio não reagir, nós falimos. 商売がうまく行かなかつたら、我々は倒産だ

Quando o tempo estiver bom, vamos passear. 天気がいい時に散歩に行きましょう

口語的表現では条件節の表現に接続法未来の代わりに直説法現在が用いられることもある。Se や Quando で導かれる条件節に、接続法現在形が現れることはありません。

しかし、直説法現在が用いられるものには、対比や強調の意味合いで用いられているものもあり、これらは厳密には仮定表現とは言えません。

Se eu sou como sou, é porque sou assim mesmo.

私があるようにあるのは、それはなぜなら私はまさにそのようであるからだ

Se eu ficava em casa, lá aparecia ele. Se eu ia a casa do Mesquita, lá ia ele.

もし私が家にいると、そこに彼は現れたものだった。もし私がメスキタの家に行くと、そこに彼は行ったものだった（過去の習慣的事実）

接続詞に caso 「～した場合に」が用いられる場合は接続法現在が用いられる。この文脈では接続法未来は普通用いられない。文体はやや堅苦しいものになる。

Caso se confirme o encerramento, os pediatras do hospital de Ovar serão transferidos para o Hospital de São Sebastião. 閉鎖が確認された場合、オバール病院の小児科医はサンセバスチャン病院に移籍することになるだろう

Caso exista um número suficiente de candidatos, os exames poderão realizar-se nas Sedes Regionais da Ordem. 十分な数の候補者が存在する場合、試験はその団体の地域支部で行なわれることが出来るだろう

ii) 仮定表現 (2)「もし...であつたなら...するだろうに」

現在の事実に反し、実現する可能性が比較的低いとみなされる内容の仮定表現では、条件節に接続法未完了が、帰結節には直説法過去未来形または直説法半過去形が用いられる。ポルトガルのポルトガル語では、通常の口語表現には、帰結の部分に直説法半過去形を用いますが、ブラジルのポルトガル語では、まだ、過去未来形のほうが広く用いられています。

Se eu tivesse bastante dinheiro, compraria uma casa.

, comprava uma casa.

もし私に十分なお金があったなら、家を買うだろうに

Se o teu pai fizesse a análise, ficávamos sabendo.

もし君のお父さんが分析にかければ、我々は知ることが出来るのに

Se eu e o meu irmão publicássemos isso com os nossos nomes, quem é que acreditava?

もし、私と兄が私たちの名前でそれを出版したとしても、誰が信じるだろうか？

E se naquele território noturno, de alegria barata, existisse cronista social, certamente registraria o fato cercando-o de adjetivos e exclamações. そして、もし、あの夜の安っぽい喜びの世界に社会派のエッセイストが存在していたなら、まちがいなく、その事実を形容詞と感嘆詞でちりばめて記録にとどめただろうに

接続詞が省略される場合もある。その場合は、条件の部分と帰結の部分の時制の組合せで意味は解釈される。

Não fosse ele ligeiro de corpo e estaria marcado no rosto.

彼が身軽でなかったなら、顔に傷をつけられていただろうに

iii) 仮定表現(3) 「もし...であったなら...しただろうに」

過去の事実と反する内容の仮定表現では、条件節に接続法過去完了が、帰結節には直説法過去未来完了(助動詞 **ter** または **haver** の過去未来形と過去分詞からなる完了形)または直説法過去完了が用いられるのが普通です。しかし、実際には、帰結の部分で「現在の事実と反する内容になる」場合があります、帰結節では直説法過去未来形が用いられる場合もあります。

Se eu tivesse tido bastante dinheiro, teria comprado uma casa.

(houvesse tido) , tinha comprado uma casa.

もし私に十分なお金があったなら、家を買っただろうに

Se o corpo não tivesse aparecido ontem, a ave-maria hoje seria bem diferente. もし昨日遺体が現れていなかったならば、今日のアベマリアはもっとちがったものになっていただろうに

③ 直説法現在における語幹母音

	第1変化	第2変化	第3変化 (a)	第3変化 (b)
原形不定詞	LEVAR	BEBER	SERVIR	FRIGIR
1人称単数	levo [ɛ]	bebo [e]	sirvo [i]	frijo [i]
2人称単数	levas [ɛ]	bebes [ɛ]	serves [ɛ]	freges [ɛ]
3人称単数	leva [ɛ]	bebe [ɛ]	serve [ɛ]	frega [ɛ]
1人称複数	levamos [i]	bebemos [i]	servimos [i]	frigimos [i]
2人称複数	levais [i]	bebeis [i]	servis [i]	frigis [i]
3人称複数	levam [ɛ]	bebem [ɛ]	servem [ɛ]	fregem [ɛ]

原形不定詞	LOGRAR	MOVER	DORMIR	SUBIR
1人称単数	logro [ɔ]	movo [o]	durmo [u]	subo [u]
2人称単数	logras [ɔ]	moves [ɔ]	dormes [ɔ]	sobes [ɔ]
3人称単数	logra [ɔ]	move [ɔ]	dorme [ɔ]	sobe [ɔ]
1人称複数	logramos [u]	movemos [u]	dormimos [u]	subimos [u]
2人称複数	lograis [u]	moveis [u]	dormis [u]	subis [u]
3人称複数	logram [ɔ]	movem [ɔ]	dormem [ɔ]	sobem [ɔ]

第1変化動詞で、語幹の母音が「e」または「o」で綴られる口母音のものでは次のものを除き語幹にアクセントのある活用形の幹母音は [ɛ] または [ɔ] となる。

- i) この e, o が二重母音の一部をなすもの. cheirar, pernoitar, dourar...
 - ii) 次に鼻子音 [m], [n], [ɲ] が後続する場合. remar, ordenar, empenhar...
 - iii) e の場合で、次に口蓋子音 [ʃ], [ʒ], [ʎ] が後続する場合. fechar, desejar, aparelhar... (ただし, invejar, embrechar, frechar, vexar は別でこれらでは語幹の母音は常に [ɛ] (ブラジルでは [e]) となる。
 - iv) -oar に終わる動詞では [o] が現れる. voar
 - v) chegar とその複合形 (achegar, conchegar...) ではアクセントのある活用形では [ɛ] が現れる。
- ブラジルのポルトガル語では鼻子音の前の強勢位置に開母音 [ɛ] [ɔ] は現れないという音声レベルの制約があるので temer, comer のような動詞では母音交替は見られない。

第3変化には次のような変化をするものもある。

原形不定詞	POLIR	AGREDIR	MEDIR
1人称単数	pulo	agrido	meço [ɛ]
2人称単数	pules	agrides	medes [ɛ]
3人称単数	pule	agride	mede [ɛ]
1人称複数	polimos	agredimos	medimos [i]
2人称複数	polis	agredis	medis [i]
3人称複数	pulem	agridem	medem [ɛ]

polir 型には sortir, agredir 型には denegrir, prevenir, progredir, regredir, transgredir などが, medir 型には pedir despedir, impedir などがある。

練習問題XIV

次の文を読んで訳しなさい。

- ① Amanhã, os cortes de trânsito começam às 9h e tem final previsto para as 13h.
- ② Decida ele o que decidir, os nossos caminhos estão próximos.
- ③ Embora a conheça há pouco tempo, é como se a conhecesse há muito.
- ④ Sempre recusei uma intervenção cirúrgica, mas se for necessária, terei de a fazer.
- ⑤ E quanto mais durava a observação mais sentia que esta Clarisse era uma desconhecida.
- ⑥ Seria possível que ela não soubesse que eu tinha quase três vezes a sua idade?
- ⑦ Ela, pelo menos, estava disposta a não voltar a ver Curió, por mais que sofresse com essa decisão.

15. 人称不定詞, その他の時制(複合時制)

不定詞は動詞のもとになる形で「...すること」を意味する。多くの言語では、通常、不定詞は(…が)にあたる人称と数、法、時制などに関して中立的な形である。ところがポルトガル語には、このような「非人称」の不定詞のほかに、人称語尾がついた「...が...すること」を意味する人称不定詞と呼ばれるものがある。

人称不定詞は不定詞に人称語尾を付ける。例外はない。

	falar	vender	dormir	ter
1人称単数	falar	vender	dormir	ter
2人称単数	falares	venderes	dormires	teres
3人称単数	falar	vender	dormir	ter
1人称複数	falamos	vendermos	dormirmos	termos
2人称複数	falardes	venderdes	dormirdes	terdes
3人称複数	falarem	venderem	dormirem	terem

人称不定詞を用いる例の多くは従属文に書きかえることが出来る。人称不定詞は、法と時制に関する情報を含んだ定動詞形によらない従属文の表現である。その意味で、人称不定詞を準定詞と呼ぶことには一定の根拠がある。

Não seria preferível telefonarmos primeiro, de qualquer parte?

(= Não seria preferível que telefonássemos primeiro, de qualquer parte?)

どこから最初に電話したほうがよくはなかったですか？

Acho que também são horas de irmos para casa.

(= Acho que também são horas de que vamos para casa.)

私たちが家に帰る時間でもあると思います

Ele já me pediu para o Pedro ficar na minha casa.

(= Ele já me pediu que o Pedro ficasse na minha casa.)

彼はペドロが私の家に滞在するように私にすでに頼んでいた

O melhor é deitarmos fora esta porcaria que a gente não sabe o que é.

一番いいのは、私たちが何かわからないこのガラクタを私たちが捨てることだ

Não vale a pena fazeres essa cara. 君がそんな顔をしても無駄だ

Minha tia disse-me que os senhores estão a pensar em irem para Lisboa.

あなたがたがリスボンへ行くことを考えているとおばが私に言った

Mas todos os cientistas esperam sempre a hora de serem mártires.

しかし、すべての科学者は常に自分たちが殉教者となるのを待っているのだ

人称代名詞は、現代語ではポルトガルでもブラジルでもよく使われる形なので、しっかり覚えておきましょう。

不定詞が表現する事柄が、主文の動詞の内容より前におきていることを示すには完了不定詞を用いる。完了不定詞は **ter** または **haver** の不定詞に過去分詞(無変化)を加える。 **ser** の不定詞に過去分詞を加えると受動不定詞になる。この過去分詞は性数一致する。さらに、 **ter** または **haver** の不定詞に **sido** + 過去分詞(性数一致)で完了受動不定詞も可能である。これらはすべて人称不定詞にして使うことも出来る。

	完了不定詞		受動不定詞
非人称形	ter vendido	haver vendido	ser vendido(s)/-a(s)
1人称単数	ter vendido	haver vendido	ser vendido/-a
2人称単数	teres vendido	haveres vendido	seres vendido/-a
3人称単数	ter vendido	haver vendido	ser vendido/-a
1人称複数	termos vendido	havermos vendido	sermos vendidos/-as
2人称複数	terdes vendido	haverdes vendido	serdes vendidos/-as
3人称複数	terem vendido	haverem vendido	serem vendidos/-as

	完了受動不定詞	
非人称形	ter sido vendido(s)/-a(s)	haver sido vendido(s)/-a(s)
1人称単数	ter sido vendido/-a	haver sido vendido/-a
2人称単数	teres sido vendido/-a	haveres sido vendido/-a
3人称単数	ter sido vendido/-a	haver sido vendido/-a
1人称複数	termos sido vendidos/-as	havermos sido vendidos/-as
2人称複数	terdes sido vendidos/-as	haverdes sido vendidos/-as
3人称複数	terem sido vendidos/-as	haverem sido vendidos/-as

Silvia agradece Miguel por ter falado a verdade. シルビアは真実を話してくれた事をミゲルに感謝した

A Isabel devia ter sido realmente lindíssima quando era jovem.

イザベルは若いときには本当にとても美しかったにちがいない

Um tio meu costumava escrever todos os anos uma revista, para ser representada pelos banhistas da praia em que ele veraneava. 私の叔父の一人が、毎年彼が夏をすごしていた砂浜の避暑客によって上演されるために、レビューを書くのを常としていた

O pior que pode acontecer-nos é sermos presos pela polícia.

私たちに起こり得る最悪の事態は我々が警察に捕まることだ

Quando cheguei a casa, não havia ninguém na sala de jantar, nem sinais de ter sido posto almoço.

私が家に着いたとき、食堂には誰もいなかったし、昼食が準備された形跡もなかった

不定詞を用いた熟語的表現に ao + 不定詞 「...する(した)ときに」がある。また、不定詞や現在分詞は不定詞構文や分詞構文を構成する。ほかに、ir や vir は現在分詞を直接従えて、「徐々に...していく(くる)」という表現に用いられる。

Ao ver-me, ela percebeu que de mim é que gostava.

私を見た時に、彼女は私のことを好きだということを理解した

Ao voltarmos a esquina, uma pedra partiu o vidro traseiro, e passou rente à minha cabeça.

我々が角を曲がったとき、石が後ろのガラスを割り、私の頭のそばを通った

Ao aproximar-me da praia, a primeira pessoa que, contrariadamente, vi foi o Rodrigues.

砂浜に近づいたとき、私が、意に反して見た最初の人間はロドリゲスだった

次の例は a+(人称)不定詞の形が、主文を修飾している不定詞構文の例である。不定詞にが3人称複数の人称不定詞になっていることで、主文の主語と不定詞構文の主語が異なることが示される。

Quase a alcançarem a casa onde ela mora, Constâncio pára. 彼女の住んでいる家のほとんど近くまで彼らがやってきたとき、コンスタンシオは立ち止まる

「...であろう」という直説法未来形や「...したのである」の直説法過去未来形(条件法)、さらに仮定文の条件節で用いられる接続法未来形には、助動詞に ter や haver を用いた完了形がある。動詞の表す内容が完了していることを強調するのに用いられ、それぞれ、直説法未来完了、直説法過去未来完了、接続法未来完了と呼ばれる。

直説法未来完了 : terei (haverei) falado, terás falado, terá falado...

直説法過去未来完了 : teria (haveria) falado, terias falado, teria falado...

接続法未来完了 : tiver (houver) falado, tiveres falado, tiver falado...

E isto repetiu-se várias vezes, até que terei adormecido de vez, e acordei com uma ideia fixa.

それは、完全に私が眠り込んでしまうまで、何度も繰り返した。そしてある決まった考えを持って

私は目覚めた

O nojo que sentimos da sujidade e da desordem dos outros não é diverso se «eles» forem ou tiverem sido nós próprios.

他の人々の不潔さや無秩序について感じる不快感は、その彼らは自分自身である、あるいはあったとしても、異なっているわけではない

相関表現「～すればするほど～です、とても～なので～です」

次のような成句的表現はよく用いられる。

quanto mais (tanto) mais ... 「～すればするほど、ますます～する」

tão... que... 「あまり～なので～だ」

E quanto mais durava a observação mais sentia que esta Clarisse era uma desconhecida.

そして、観察を続ければ続けるほど、このクラリスは知らない人だとますます私は感じていた

Os condutores estão tão ocupados que nem param para tomar café.

運転手たちはとても忙しいのでコーヒーを飲むために止まることさえしない

O caso é tão flagrante que é difícil que a câmara desconheça o assunto.

その事件は、あまりに明白なので市役所が気づかないということは難しい

Quanto mais ele denunciava um livro como immoral, mais o livro se vendia como agradável!

彼がある本を不道德と批判すればするほど、その本は気持ちのいいようにますます売れるのだった

Acho que, quanto mais cedo, menos perigoso. 早ければ早いほど、より危険ではないと思う

Quanto mais um Estado engorda, mais frágil se torna a sua economia.

国家がより肥えれば、その経済はますます脆弱になる

練習問題 X V

次の文を訳しましょう

- ① De acordo com os projectos, ainda numa fase inicial, haverá também espaço para três ou quatro estações similares.
- ② Na sala havia ainda três quadros do pintor. Um surrealismo de pesadelo. A meu ver, medíocres, embora eu não pudesse estar seguro dos meus gostos artísticos, pelo simples motivo de que nunca lhes dera muita atenção.
- ③ Ainda me lembro do assalto de carnaval, em que nos conhecemos, na casa de umas meninas feias, podres de ricas, cujo pai era subsecretário de qualquer coisa num governo de Salazar.
- ④ “Não é aceitável que um membro do Governo minta aos portugueses e à Assembleia da República”, sentenciou Durão Barroso, presidente do PSD.
- ⑤ Repito que nunca, directa ou indirectamente, recebi dinheiro para fins pessoais.
- ⑥ Um avião norte-americano e a sua tripulação continuam detidos na base militar chinesa de Hainan.
- ⑦ Os Estados Unidos exigiram à China a libertação imediata dos 24 tripulantes.
- ⑧ E acabou por conseguir autorização para hoje visitar o avião.
- ⑨ O primeiro-ministro do Reino Unido, Tony Blair, anunciou ontem o adiamento das eleições locais para 7 de Junho, justificando a medida pela crise de febre aftosa que afecta áreas rurais do país.

16. 話法, その他

① 話法の書き換え

発話をそのままの形で引用する直接話法から間接話法へ書きかえるためには, 時制や法の調整, 主語や目的語, 時間や場所などを示す語句を置き換える. この最後のものについては次のような例を挙げることが出来る.

aqui ⇒ ali ; cá ⇒ lá ; ontem ⇒ na véspera / no dia anterior
amanhã ⇒ no dia seguinte ; na semana que vem ⇒ na semana seguinte
na quinta-feira ⇒ na quinta-feira / na quinta-feira seguinte / na próxima quinta-feira
para a semana ⇒ na próxima semana ; vir ⇒ ir ; trazer ⇒ levar

ただし, このような語は間接話法の文が発話される時点や場所との関係で用いられることもあるので注意が必要である. また, 従属文を導く動詞に次のようなものがある.

- ① dizer, perguntar, referir, repetir, responder, retorquir... (中立的)
- ② balbuciar, concordar, exigir, mandar, pedir, proibir, prometer, reclamar, recomendar, recusar, sugerir, suplicar... (発話者の態度を示すもの)
- ③ admitir, confessar, pretender, reconhecer... (発話者の評価を含むもの)

以下, いくつかの書き換えの例を挙げる.

- A senhora vai sair — disse ela olhando-o muito.
⇒ Ela disse olhando-o muito que a senhora ia sair.
彼女は彼をじろじろ見ながら, 奥さまは出かけるところだと言った
- Preciso de dinheiro — disse o capitão.
⇒ Disse o capitão que precisava de dinheiro.
金が必要なんだと船長は言った
- Não achas melhor tirar esse poncho? — perguntou-lhe Rodrigo.
⇒ Perguntou-lhe Rodrigo se não achava melhor tirar aquele poncho.
ロドリゴは, そのポンショを脱いだらどうだと彼(彼女)に言った
- Sou a Julieta — disse, hesitante.
⇒ Disse, hesitante, que era a Julieta. 私がジュリエタよ, とおずおずといった
- Nem banho tomei, ela esclarecia.
⇒ Ela esclarecia que nem banho tinha tomado.
シャワーすら浴びられなかったわと彼女は言った
- Que será feito do senhor padre Brito? perguntou D.Joaquina Gansoso.
⇒ Perguntou D.Joaquina Gansoso que seria feito do senhor padre Brito.
ジョアキーナ・ガンソーゾさんはブリート神父さまはどうなされたのと尋ねた
- Não faça escândalo — disse a outra.
⇒ Disse a outra que não fizesse escândalo. もう一人の女が騒ぐんじゃないのよと言った
- Não abro a porta a estas horas a ninguém — disse Graça.
⇒ Disse Graça que não abria a porta àquelas horas a ninguém.
こんな時間には誰にも扉を開けないわ, とグラッサが言った
- Isso é um número muito comprido, respondeu Cesária.
⇒ Cesária respondeu que aquilo era um número muito comprido.
セザリアはとても長い数字なの, と言った
- Aqui amanhece muito cedo — disse Sales.
⇒ Disse Sales que ali amanhecia muito cedo.

- ここでは夜が明けるのがとても早いのだとサレスが言った
- Foi um tempo velhaco — disse, concordante e enfasiado.
 ⇒ Disse, concordante e enfasiado, que tinha sido um tempo velhaco.
 昔のことだよ, と相槌を打ちながら退屈そうに言った
- «Lá é bom?» — perguntei.
 ⇒ Perguntei se lá era bom. あっちはいいかい, と私は尋ねた

② 不定形容詞, 不定代名詞

不定形容詞				不定代名詞
男性単数	男性複数	女性単数	女性複数	alguém ninguém tudo outrem nada algo
algum	alguns	alguma	algumas	
nenhum	nenhuns	nenhuma	nenhumas	
todo	todos	toda	todas	
outro	outros	outra	outras	
muito	muitos	muita	muitas	
pouco	poucos	pouca	poucas	
certo	certos	certa	certas	
vário	vários	vária	várias	
tanto	tantos	tanta	tantas	
qualquer	quaisquer	qualquer	quaisquer	
cada				

– Tens bolos na caixa azul. Queres **algum**? 青い箱の中に君にお菓子があるよ。ひとつどう?
 Estes andares estão degradados. **Nalguns** chove como na rua.

これらのフローアは老朽化している。なかには外のように雨が降るものもある
 No exame de matemática não fez **coisa alguma**. 数学の試験では何も出来なかった
Não passou **nenhum** autocarro desde que cheguei à paragem.

(= Nenhum autocarro passou ...) 私が停留所についてから一台のバスも通らない
 Não ouvimos **coisa nenhuma** daquilo que o professor disse.

その先生が言ったことの何も聞こえなかった
 Ficava horas à janela, a ver se **alguém** conhecido passava.
 誰か知っている人が通るかどうかみるために何時間も窓のところにいた
 E se **esse alguém** existe, é porque existo.

そして, その誰かが存在するのは, 私が存在するからだ
Ninguém arredava pé de junto do presidente. 誰も大統領のそばから離れなかった
 Felizmente, o médico disse que não era **nada de grave**.

幸いにして, 重大なことは何もないと医者が言った
Todos os operários fizeram greve. すべての労働者がストをした
 Quase **todos os portugueses** estão desiludidos com a política.
 ほとんどすべてのポルトガル人が政治に幻滅している

Ao pobre rapaz, depois da queda, ficou-lhe a doer **o corpo todo**.
 その哀れな青年は, 転んだあとで全身が痛むようになった
Toda a família partiu para férias. 家族みんなが休暇に出発した
 A Mónica passou **toda a tarde** a escrever. モニカは午後じゅう書いて過ごした
 O Carlos faz **tudo o que** quer. カルロスは何でもやりたいことをする
Um dos feridos salvou-se, mas **o outro** ferido morreu.

けが人のひとりは助かったが、もうひとりのほうは死んだ
 Além de me dizer que ia ao cinema, disse-me **outra** coisa que agora não me lembro.
 映画に行くと私に言ったほかに、別のことを言ったがもう思い出せない
 Foi decidido pelo diretor, e não será por **outrem** revogado.
 部長によって決定されたことで、他の他人によっては無効にされない
Certas crianças não se adaptam completamente à escola.
 ある種の子供たちは学校に適応することが絶対に出来ない
 O Marco fez um **cálculo certo**. マルコは正確な計算をした
 Comprámos **vários** móveis para a nossa nova casa.
 新しい家のためにいろいろな家具を私たちは買った
 Miguel, compraste **tantas** coisas, não sei para quê!
 ミゲル, そんなにいろんなものを買ってどうするんだい
 No verão, em **qualquer praia** há imensa gente. 夏にはどの海岸も人でいっぱいだ
 Não se trata de um **homem qualquer**, ele é um génio!
 どうでもよいような人じゃない, 彼は天才だ
Cada cliente pagou a sua conta. 客ひとりひとりが自分の分を払った
Cada qual (=cada um) sabe dos seus problemas. 各人が自分の問題について心得ている
 O Luís está **cada vez mais** preguiçoso. ルイスはますます怠け者になっていく

③ 不定表現や強調

「～される」といった主語を明確にしない表現には、再帰動詞を使うものと3人称複数で主語を明示しない方法があります。

Aqui fala-se inglês. ここでは英語が話されます

Falam inglês naquele país. あの国では英語が話されます

文中の特定の語句を強調するやり方には、ser ... que で強調される部分をはさみ、時制は主文の動詞にそろえるやり方や、é que を強調したい語の後に置くなどの方法があります。

É ela que quer ir jantar naquele restaurante. あのレストランで食事したいのは彼女だ

O João é que tem problema. 問題があるのジョアンだ

E foi no mosteiro de Coimbra que começou a escrever os seus sermões, reveladores de uma abordagem que hoje se definiria como interdisciplinar. そして、まさにコインブラの修道院で彼はその説教を書きはじめた。今日的に定義すれば学際的と言えるような切り口を示したものだ。

ブラジルのポルトガル語では é que の代わりに、é, era, foi などが挿入されることもあります。

④ 出来るや義務の表現

ポルトガル語では「～出来る」に対応する語に poder, saber, conseguir があり、使い分けられることがある。

poder (可能性, 能力として)「～出来る」

saber (もっぱら能力として)「～出来る, ～するすべを心得ている」

conseguir (達成するという意味で)「～出来る」

「～しなければいけない」という義務の表現には、ter de (/que), haver de, dever がある。

Ele já pode dormir descansado. 彼はすでに安心して眠ることが出来る

Sendo assim, não se pode pescar em lado nenhum!

そんなことでは、どこでも魚なんて釣れないじゃないか!

Ele sabe contar as histórias. 彼はそれらの話を語るすべを心得ている

Nem sempre escreve sobre coisas que me interessam, mas Martin Amis sabe escrever.

いつも私の関心を引くことについて書いているとは限らないが、マルチン・アミスは書くすべを心得ている

Nenhuma bactéria consegue viver numa concentração muito elevada de álcool.

どんなバクテリアも非常に高い濃度のアルコールの中では生存できない

poderは「～であり得る」という意味で用いられることもある。

O caminho não pode ser muito diferente. 道はそんなにちがったものではないだろう

Eu tenho que assistir à reunião. 私はその会議に出なければならない

deverは「～しなければならない、～にちがいない」という義務や断定の意味で用いられる。

Os alunos devem estudar mais. 生徒たちはもっと勉強しなければならない

Deve ser uma foto. それは1枚の写真にちがいない

Calcinha, camiseta, essas coisas devem ser bem mais baratas.

パンティーやTシャツとか、そういうものはずっともっと安いにちがいない

Tu deves viver para a vingança. 君は復讐のために生きなければならない

haver deは、「～にならざるを得ない」というような必然性のニュアンスを帯びます。

Esta promessa há-de cumprir-se. この約束は実行されことになるだろう

Deus há-de punir o inimigo da igreja. 神は教会の敵を罰せられるにちがいない

De qualquer modo, dentro de dois a três dias, as águas já deverão estar limpas.

いずれにせよ、2、3日中には水はきれいになるにちがいない

⑤否定辞

ポルトガル語の基本的な否定辞は não ですが、他によく用いられるものに nunca 「決して～ない」、nem「…も～ない」があります。

Você não quer provar um bocadinho, Manuel? ちょっと試してみたくないかい、マヌエル？

Vocês nunca ouviram isto? 君たちは今まで一度もこれを聞いたことがなかったの？

Mas ele não aparecia na escola, nem no consultório.しかし彼は学校にも、診療所にも現れなかった

nemは例文のように「もまた～ない」という意味で使われますが、強い否定辞として用いられることもあります。

Eles nem sequer se passeiam à noite com as namoradas na rua.

彼らは夜に恋人と通りを散歩をすることすらしないのである。

練習問題XVI

次の文を訳しましょう

- ① Eu posso levar um amigo?
- ② Tem também um papel colado, com quatro pontos de cola. Pode ser um cartão postal, pelo tamanho.
- ③ O papel da máquina deve ser bem seco.
- ④ Pelos móveis, eles não devem ter muita grana, são tão duros quanto eu.
- ⑤ Cadê o dinheiro?
- ⑥ Eu não quero mais te mentir.
- ⑦ Tu queres casar comigo e sair daqui?

